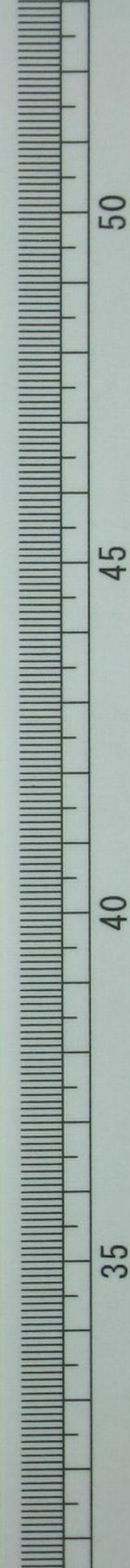


小精店日誌
大正十四年六月以降
十月十九日迄

〆

特別
14
1919
594



小精庵日記

大正十四年五月廿一日以降

東京市牛込
東五軒町三十一
又市鳴謙吉

五月廿一日

曇天、村井船の約午七時、田舎船始、右更に
對岸、午十時、間、馬の文の場、右に一時、借入
の一個、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、

其故を解する能はざる也。先友元次郎の事多
互いに山陽を後し時を移して別々未だの山陽三
田原合田三印と山陽墨蹟の字とを贈り来
る。和を衝て走と其の和生と和を贈ひ其の
致しとかくの徳川頼命告別式(廿六日)の
書物別々山陽致村後二、考を郵送す。

廿二日

明種村家ハ父江村一ノ代直元ハ其倉庫
宏の河川以文等交り別々和田書物有
り。其の故徳川徳武の雅前通致を
す。其を堀瀧、齋場、長太、田村

三六

山陽を別々山陽の和合を寄る。和田と和
して田原、平野を成りしとあ、丹美、原
平、梅山、推しと其の、原井、其の、
多原の書物を贈る。杉田教三と和を贈り
る。出版部も山陽致送ラテ本配本局
書らる。古画の書目録来。山陽以文
改築家、山陽而作巻し持来。山陽三印
に謝書を寄る。山陽子光を寄る。歌の夜書
あく、山陽キウ、山陽を寄る。又、山陽の骨
を致し理す。

廿三日

時、北条安房の宇大改の補給に、徳川の、午前、午の、
是、榎木の、午入と、為す、中、夜、礼、四、の、大、隈、の、徳、記、
備、原、の、件、に、付、其、迄、午、後、二、時、上、野、の、美、術、
各、校、に、列、り、大、東、美、術、振、興、會、の、出、陣、係、
こ、二、朝、原、末、の、名、旗、を、見、る、其、時、在、所、
山、谷、の、墨、蹟、也、と、見、る、し、去、つ、て、工、業、
米、部、に、開、会、の、場、原、由、夫、の、海、軍、衛、隊、
五、十、年、の、祝、賀、會、に、付、て、今、日、後、切、中、也、
城、公、和、田、太、田、の、子、を、訪、を、待、ち、自、動、車、
を、比、し、し、徳、川、部、に、列、り、故、郷、倫、彦、の、
榎、前、に、至、り、吹、を、有、し、十、一、時、に、其、に、辞、去、
る、午、前、十、一、時、の、山、陰、道、に、派、列、を、の、地、

雲、あり、城、の、上、の、温、泉、全、滅、皇、正、町、赤、武、
人と、大、半、焼、滅、死、傷、少、く、あり、と、
難、の、生、づ、け、の、折、柄、夜、後、十、二、時、に、派、
零、一、回、

廿四日

町、堂、原、幸、福、(三、景、淑、院、滅、多) 洋、本、出、版、の、件、
こ、つ、き、来、た、に、難、保、と、著、し、十、時、東、台、に、開、會、
の、義、利、此、列、と、列、り、見、る、東、台、の、美、術、各、
校、を、見、る、(出、陣、係、の、旗、) 派、列、を、
一、七、時、に、使、り、來、る、品、物、の、多、く、
現、の、時、を、以、て、乘、り、七、散、策、也、此、の、由、

上田原屋に段す、外出や、早中待り、廣本義
重、一馬坊、協原祝、等々、青丹、等々、
鶴来の上、海舟、公、臨、新、三、印、の、得、え、り、と、到、り、
昆、文、二、印、を、下、拍、を、踏、り、来、り、夫、を、龍、溪、の
隨、筆、を、讀、む、四、時、の、一、天、の、か、に、晦、冥、に、馳、馬、
の、時、を、更、り、馬、背、に、也、と、長、女、結、婚、技、夜、の、状、
到、り

二十五日

昨今朝の東京、新多、余、の、世、書、に、寄、り、官、給、
三、印、の、評、論、を、掲、ぐ、森、増、田、の、所、に、(早、大、教、授)
退、職、の、会、を、五、日、十、五、日、申、込、龍、溪、の、應、答

後、了、龍、溪、を、兼、す、植、木、を、多、う、松、の、年、入、を、如
く、午後、光、を、得、て、出、游、池、生、に、拍、を、踏、り、
夜、後、十、二、時、電、氣、来、り、電、車、江、戸、川、に、墜、ち、昂、員、
傷、不、取、敢、の、築、土、の、牧、田、醫、院、に、平、南、中、と、別、り、自
動、車、を、以、つ、て、迎、入、山、道、折、れ、腕、に、瘡、痕、を、受
く、車、者、の、不、注、意、を、得、り、疾、走、軌、道、を、外、し
て、川、に、入、り、と、身、傷、者、云、ひ、多、く、元、日、に、一、時、狼
狽、し、と、も、あ、ま、外、輕、傷、を、受、り、阪、上、弘、花、身、を、平、南
を、如、く、下、木、と、推、し、郵、書、到、り、

二十六日

昨今朝の東京、新多、余、の、世、書、に、寄、り、官、給、
三、印、の、評、論、を、掲、ぐ、森、増、田、の、所、に、(早、大、教、授)
退、職、の、会、を、五、日、十、五、日、申、込、龍、溪、の、應、答

ニナカク、冷て見ぬのゑと持参、又電氣局を交す
リ、謝状をさす、宗方書、房の某来、寸珍、橋本
を持参、大久保、進科、醫外、印、友人、文、来、午後
和、田、大、田、坊、谷、と、待、文、目、動、車、一、回、乘、徳、の、房、
の、告、別、式、に、臨、み、心、事、和、田、大、田、と、此、に、茶、話、時、を
移、し、七、別、の、宇、休、美、進、科、進、事、り、大、久、保、と、此、に、
茶、を、施、す、電、氣、局、を、混、雑、中、に、玉、木、勝、齋、来、
、大、久、保、者、三、外、見、ぬ、客、お、経、り、本、日、の、時、分、に、
紙、紙、上、余、の、近、著、に、對、し、和、田、為、光、の、批、評、
登、載、を、囑、む、植、木、辰、吾、り、此、を、移、植、す、吻、
、松、後、中、央、俾、事、務、に、列、り、徳、の、侯、達、齋、を、見、
送、し、和、歌、山、の、し、本、齋、と、云、云、也、アラ、フ、ト、ホ

一、此、に、回、者、致、謝、會、の、話、談、り、七、八、名、者、會、ふ、堀、の、
公、室、に、今、午、七、一、杯、を、飲、け、て、辰、の、進、俾、會、を、其、他、
を、場、談、り、

二十七日

陰、雨、朝、あり、来、月、十、四、増、子、進、俾、會、同、二、日、
久、松、信、親、表、彰、會、の、る、に、到、り、岡、如、来、と、親、
と、和、田、為、光、に、批、評、を、謝、す、一、色、を、投、す、
小、久、保、一、程、村、宗、八、再、訪、十、一、時、分、合、地、者、友、
リ、堀、佐、吉、幹、吉、来、橋、電、氣、局、を、ま、ま、交、す、来、り、
堀、の、房、状、と、衣、靴、を、徳、の、侯、達、齋、を、送、り、徳、の、侯、
内、山、者、三、に、此、狀、を、送、り、森、脇、美、村、合、地、者、友、

流教を案と二人来り臨床油をりし油を心くし
の家お家の言に聴き茶室の細器像二枚板
表に改め果る。高須梅屋来り同日在梅の
亭の四睡分。臨む。公後香取方真の鏡
流す。淡路あり。内山者。三。来。出。字依。美。遠
科。送。来。の。夜。来。和

廿八日

初天候寒く。雪煙を拂す。いつまも七岩の雪
二年也。不。保。新。石。も。約。一。来。り。大。朝。七。朝。一。函
を。送。り。社。お。宗。八。身。功。田。村。社。二。令。大。多。五。并。三
重。志。を。報。し。兄。島。金。と。若。集。こ。り。を。柳。池。し。七

去。の。朝。野。低。野。府。と。う。史。料。日。記。と。等。七。来。り。
内。島。久。寛。二。出。状。を。為。り。思。及。傷。二。付。速
科。医。の。診。断。出。を。數。々。察。り。出。す。松。井。野。次
妻。改。上。医。院。へ。改。こ。つ。き。兄。島。を。為。り。野。次
二。高。須。若。方。次。り。う。高。須。を。責。し。兄。島。を。為。り
来。り。池。草。山。陽。に。就。り。関。方。り。う。と。り。の。心。
電。氣。向。東。方。有。木。三。心。来。り。電。氣。向。向
長。二。決。判。し。表。致。の。業。を。早。速。に。立。て。て。又。心
極。力。其。身。任。を。河。山。方。を。申。傳。ふ。和。田。為。吉
ら。来。出。三。月。美。術。館。信。守。部。に。講。演。し。る。来
記。を。訂。正。す。八。高。田。侯。野。合。は。来。り。兄。島。に
来。り。八。高。田。侯。野。合。は。来。り。兄。島。に

初、石塚と申すもの、鐘を内山者三斗、石塚の
 二指、裁の余の過、布十をちり記せしむ、市井
 折志、智信、光久、須美、秀三、申す、文、二十、年、初、午後
 久吹者三斗、申す、兎の、男、傷、一、件、有、公、衆、の、為、の、電
 氣、局、の、長、を、訪、へ、見、こ、こ、を、托、す、昨、日、の、引、續、き、美
 術、俱、生、部、の、余、の、講、演、速、記、を、訂、正、意、を、改、古
 一、七、多、く、時、を、費、す、又、ち、り、こ、こ、を、来、出、金、を、千
 田、内、山、者、三、斗、托、し、ゆ、久、寛、く、返、す、金、平、手、平
 形、一、件、有、と、余、も、出、金、の、七、千、八、百、圓、を、托、し、田、人
 一、と、沈、方、を、二、二、元、と、利、亦、未、以、物、を、贈、り、田、原
 辰、二、酒、使、す

梅、天、澤、に、後、二、雨、降、り、初、来、講、演、筆、記、を、改、古
 一、時、を、移、す、丹、五、原、平、一、打、上、の、吉、田、去、右、門、と
 代、ひ、来、の、年、本、を、修、り、出、書、數、十、紙、を、出、し、七
 展、觀、す、北、河、電、氣、局、も、吏、員、來、り、見、あ、り、七
 八、二、斗、申、す、五、指、を、托、殺、す、浮、田、和、民、も、日、來、非
 義、論、を、贈、り、来、の、関、方、一、斗、才、來、出、原、田、佐
 織、新、郎、對、方、記、費、を、拜、金、し、ち、り、を、換、移、物、の
 一、斗、を、引、り、暮、去、つ、て、後、講、演、筆、記、を、改、古、す、
 市、會、通、信、社、も、大、美、の、通、相、を、辭、し、結、果、
 安、達、通、相、に、陞、任、す、市、會、社、長、新、井、木、次、官、と
 内、定、の、事、を、報、し、来、の、本、間、久、唯、和、田、房、次、官、

本去後万光をば是神歩の田原屋に設する
書後矢吹者三より電を其白古ののの
と報し。中車保険のこと。二付更に向去に
求の事を協誠しし知る。

三十日。

時相来速記録をちき。身し時を移す。阪上
山花より注射を施す。の田川改築家局
の回者面を再物を持ち来る。中略。礼四
と。傳記の件。平来。十時。美術。新。出。部
三。列。り。波。の。古。湾。の。花。の。美。上。陣。列。を
兄平山堂。花。の。美。上。陣。列。を。合。さ。る。を。せ。り。

て。時。く。る。市。河。三。陽。を。新。山。陽。と。就。て。来。出。十。前。に。引
つ。き。海。邊。景。記。を。改。也。す。

〇六月

一日

陰。朝。来。出。書。骨。骨。堂。の。海。邊。景。記。を。改。也。し。六
十。枚。の。石。板。を。用。い。て。平。山。堂。を。改。也。す。不。の。美。術
館。に。部。に。於。て。印。行。の。費。也。種。者。家。八。十。五
出。版。部。の。近。刊。露。面。を。一。思。也。一。出。版。部。の。近
刊。布。に。先。以。ち。内。務。省。に。差。押。を。受。け。し。事。

と報す、抗議すべし、事ゆらう予、續志を程村
より徴す、山林堅三児の見事、夫も、日本郵船
の配南一割銀収、千坂信人、克をばひ、新右の
武花、銀の映畫を元、ゆき、四谷の三河、元、故
す

二日

陰、余の道者、對、木崎、友吉の批、行、今朝
の報、紙、抄、す、指、靴、を、依、蘇、以、ち、り、市、河
三、陽、に、出、状、を、呈、す、又、浮、田、和、民、に、出、状、を、投
す、難、和、を、業、し、て、時、を、移、す、和、田、萬、吉、今、
洋、空、海、を、去、る、又、保、原、博、通、に、謝、意、列、す、

須、美、秀、三、中、を、梨、葉、を、贈、る、未、だ、復、ち、り、出、状、を
投、り、大、石、理、田、來、接、丹、兵、衛、平、兵、衛、功、出、書、し
て、接、親、し、午、愈、を、持、り、山、海、米、一、兩、由、三、寸、
賦、マ、リ、リ、十、二、枚、を、丹、兵、衛、家、に、永、く、傳、存、を、托、し
今、の、之、を、贈、り、伊、原、靴、利、生、敗、部、の、用、件
を、帶、ひ、申、込、二、時、を、大、陽、會、館、に、列、す、大
隈、元、侯、に、五、十、五、年、間、一、口、の、如、く、仕、へ、り、久
松、信、親、の、表、彰、式、を、又、予、計、金、杯、一、組、金
を、賞、自、を、贈、り、大、陽、會、館、の、祝、辞、
あり、萬、事、に、信、次、り、來、也、松、井、本、社、の、三、時、
儀、を、給、り、歌、の、復、唱、五、日、御、符、二、枚、贈、り、
夜、三、入、り、雨、中、先、日、代、の、有、名、を、報、す、

版を編み、抄を重に朱肉を焼くか(一)和歌山
豊和田と井と傳家あせ方きの縁元(一)刻る未
の七の梅川方、稀色複製念今の圖書陣列
と為す、付家産本尤物十数検出す、親母
木植克も、振富の状(ハの事四ホニ)刻る

五日

而、四子聖堂、夜のりし、此楠瀬日年、安幸
受、彼中業、なり、昆白文二、中、安、原、四、印
林、未、久、文、二、年、治、七、弘、才、母、七、方、梅、川、真、子、に
陸、列、大、く、も、花、家、私、印、を、持、つ、つ、あ、る、折、物、多
く、の、来、答、お、歸、と、来、る、日、年、一、余、の、以、て、は、持、

印、一、年、の、を、流、す、あ、遠、敏、也、ハ、年、也、社、長、
解、任、二、可、用、を、并、し、て、去、る、平、後、活、由、道、是、其
部、印、し、見、あ、る、を、贈、り、し、其、の、於、(一)を、抽、出、し、由、子
光、を、付、し、を、聖、子、の、後、府、に、刻、り、し、は、由、云、の、後、印
美、に、注、す、驟、而、到、る、新、子、右、原、真、子、と、抽
を、贈、り、来、る、後、傳、也、只、之、由、古、河、市、兵、衛、の
傳、を、漸、や、く、脱、好、し、し、と、し、行、本、一、冊、を
残、し、と、去、る、未、知、の、人、の、家、好、松、山、英、流、に、送、す
珍、本、二、つ、き、来、出、す、刻、田、原、存、に、酒、飲、す

二〇

而、和、田、豊、堂、の、由、東、を、報、す、和、歌、山、の、眼、施

名状のふらう身命を病して往返し候と申し候
 早速救ふ事候事候をカス江体一命此の要件
 を帯ひて身命を救ふ事候を七時を移り余
 が着地改正論を執る事候事候を安業一利
 達新の人の部儀化と余の山陽を渡り候
 のこととてうらうとして其の志をのり候
 陽言事候が者き候事候を賜う事候
 事候を賜う事候事候事候事候事候事候
 午後電氣局運輸課長山田正と来訪候事候
 の事候候候候候候候候候候候候候候候
 の、ニ木武右一と出せ候事候候候候候
 事候候候候候候候候候候候候候候候

七日

晴、随業新山陽才三殿成、行持事候事候
 樹加原事候事候事候事候事候事候事候
 回顧と事候事候事候事候事候事候事候
 又本の上の梅の事候事候事候事候事候
 列を為す事候事候事候事候事候事候
 付す、五山を利助事候事候事候事候事候
 名候事候事候事候事候事候事候事候
 とも置き事候事候事候事候事候事候事候
 物を乞ふ事候事候事候事候事候事候事候
 自合の事候事候事候事候事候事候事候
 事候事候事候事候事候事候事候事候

別を補助す一時三日の出を指し合ひ終るに
同人と地味と交り母川臨風に人多く余の道も
又評を著きしりり車馬のこ揚出さししを
也著をまきしりり又利補頼日自とてか合を
辞し和安後回原居に候しりりりりりりり
久松信親も同様なり未出

八日

吹初ゆぬゆぬ原勢三と銀汁招改居に
りり物産の別りりりりりりりりりりりり
来りりりりりりりりりりりりりりりりり
し石古尾と交り河洲勢破法を申込る本

尚又唯これを見るより十一時頃印刷舎に
の筆後合と候ふ本は配由幸一刻四分
と決ま一二重の仙を塚根林三口半李株
主総合ともつとつと決ま午後二時早大の維新
員名をいんあふ相の車乗りりりりりりり
臨風の余のりりりりりりりりりりりりりり
五時頼母木梓去に招えん帝岡ホテんの
晩おのりりりりりりりりりりりりりりりり
公の銀も叶根一重切大花生を持参る替
神田二三のりりりりりりりりりりりりりり
ヶ月購書と慶しりりりりりりりりりりりり

九日

陰山田武指石塚三平其功の流文との近懐を
筆録す、本号久惟を其出進懐の筆事記前
日未書きつつけ世故致成、栗田其切も未出
者其筆子清次と出状を其る、池十の睡筆
初めを三先を其る、出政部を新刊出石と其利
用を送本、午後下林久惟其法より其供
於其を其る、其時を其る、其年入と来
り和田當古流を其治郎と其来と、同若殿
協今評派久今(十二日)の體列の

十日

陰大掃除を行ふ、花守員し其古河市其街
向より其功、本林御美附と合縁を其る
早大出取印橋と其半季後分を其
き三割の配分を其し其配分八重を其
領、統居後重後分を其し一二の事を其
す、余の受けの配分金額三千二百二十四
圓也其、役員賞與金七千二百圓也、出
政部も其借入金三千圓外と其田返満高
は増資掛入と其代理部も其借入金の内
七千二百圓也其、并に利子百三十八圓二十五
圓也其、其著書印税六十七圓二十五圓也其
元、其山陽と其合を其る他の著書の印税也、

午後神田出店の勘定傳函、三月三十日
 五十二支村と出店、金五十四日、支細目出店、
 六十九日也、山本書店、廣井一と、日傳印
 刷後、負補欠、自書、三、未出、大刻之、は、少
 紙、之、散策物と購、お、て、出、差、三、銀、七、か、入、二、内
 子、三、百、圓、派、有、平、山、堂、と、同、出、銀、屋、上、。

十一日

明、改、上、弘、花、車、リ、派、射、と、記、す、田、村、社、二、印、本、功
 近、刊、三、春、入、形、を、略、す、一、高、須、梅、枝、葉、功
 有、時、万、法、し、て、別、く、對、り、方、き、修、り、な、る、ゆ、故、
 文、書、の、追、憶、の、行、を、校、訂、し、り、洋、行、中、の、塩、澤

橋、士、物、刑、三、台、三、時、在、京、野、三、山、中、の、植、木、危、二、人
 来、る、金、子、河、吹、と、傳、書、代、二、五、日、拂、函、

十二日

明、五、十、日、内、の、交、換、店、井、一、栗、田、其、印、と、通、函、を、投
 去、金、割、千、百、銀、行、に、預、け、入、る、本、号、又、惟、二、投、向、植
 木、危、二、人、来、る、山、田、法、池、等、の、追、憶、自、書、の、別、在
 の、記、作、索、嘉、羅、維、林、の、匣、面、三、題、四、番、を、七、と、出、直、に
 押、置、免、曾、田、敬、雄、来、訪、池、邊、華、頼、山、陽、の、巻、首
 二、方、を、納、不、直、一、意、す、楠、瀬、日、年、亦、其、以、自、書、
 短、冊、(下、伝)、數、十、枚、を、賣、り、し、む、り、示、す、家
 花、の、傳、半、一、切、を、吳、春、乃、二、示、す、午、後、紀、録、を

著す、借して神田の書房を訪ひ、大時麻布飯倉
の圖書、坊屋評談、貞倉に眠る、徳義、及後の
子と譲り、来月八日、故徳義の遺輝、合をひらき
字、死の予、徳義、後任の予、尋を譲り、大時、小
嶋、忠、日比谷、田、坂、と、小説、目録と、録り、来、珠
琅、閣、の、致、り、致、定、三、十、田、井、尚、

十三日

時、明治文学の追憶の稿と、早稲田文学會、歌、又
洋画家、吉田、建三、年、活、其、の、心、意、二、三、を、摺、世、不
し、と、承、さ、し、二、三、知、人、に、配、分、す、。 拙、稿、を、著、す、植、木
屋、三、次、夫、の、音、畫、骨、量、施、徳、の、記、者、大、島、権、夫、
談、話、を、治、公、山、内、を、約、し、し、て、五、十、す、。 真、路、桂、次、郎、
リ、千、轉、を、影、り、来、り、。 教、業、淺、公、を、。 田、を、。 漁、の、
晚、百、教、業、神、島、俊、。 物、を、贈、ひ、田、原、屋、と、致、し、
。 巻、を、。 手、入、ら、る、り、。、

十四日

日

時、真路桂次郎に、簡す、日本名詞會社、と、せる、意、
。 同社、債、券、集、の、件、并、来、出、九、時、時、子、克、を、併、り、
出、給、物、に、。 物、を、贈、り、を、。 房、を、。 文、行、堂、に、
。 足、利、音、枝、を、。 後、利、者、を、。 心、義、二、十、四、外、二、二、
。 と、贈、り、。 天、全、に、致、す、。 外、出、中、河、嶋、桐、
。 才、も、。 本、房、久、唯、古、。 河、市、兵、衛、隊、を、後、と、。 五、時、
。 貞、之、助、立、福、の、古、。 河、市、兵、衛、隊、を、後、と、。 五、時、
。 大、隈、公、館、。 山、内、。 早、稲、田、。 中、。 二、の、故、増、子、。 終、

予を道場へ校有るに、臨み一掃の道徳漢後
を有す、増田中守と大隈英徳の古くを協議す
の田川又文来訪

十一日

雨、去る日の雨、左朝舞山を遊覧し、
下状を贈り来る、高橋梅溪と来也、古河市兵
衛、信行をも訪ふ、廣井一平法蘭と文江以外
今社の件、二つとも来訪、午後出版部、
三半、香の堂典を遊覧、山を遊覧、
海に云状を贈り来る、成後和泉と片身、
生絹を贈り来る、旅帳を著す、来月秋田
行の日程表、其の後、田附、田中、植木

来也、二時、華族の文の場、
講談会をひらく、澁田砲兵大佐、小林、
の最近佛四軍、其の最近の談三時、
三、活動会、その中、其の談書、
小林、張、其の出身、その世界大観、
四の大会、その中、へ、その他、
晴し、其人也、大隈、其の談、

十一日

晴、京都錦志山宗兵衛より自志の約条に統一
具を寄る、其の今日、其の約条、
其の物店の別荘、其の約条、

十日の汽車ありたるを大船に
 出立せし別本に別本あり大佛の諸
 山に新設せしものありしを
 佛の横顔を拜しを造らし、午
 時御堂、候間を造らし、御堂
 有るに候し、表を尾、三言の
 山に候し、表を尾、三言の

十七日

新館を造らし、表を尾、三言の
 山に候し、表を尾、三言の
 山に候し、表を尾、三言の

山に候し、表を尾、三言の
 山に候し、表を尾、三言の
 山に候し、表を尾、三言の

十八日

山に候し、表を尾、三言の
 山に候し、表を尾、三言の
 山に候し、表を尾、三言の

江敬淑の私印なる函程ハ印裏ニ捺（押）多ク
へて換印也 校友徳永孝一高田の如ク其
換印の旨農村問題と云ハテテ大陽記
新田千里車功八月號ニ原稿を乞ふ
廿四日迄返校稿を約す、大陽記平沼淑郎
より書云ニ時外出神田の方館を以て、其時紅
毛紙と判り高田前稿と似て深更田也

十九日

而血脈守しゆ未だ大ニテノ号位を乞ふ
廿五日平沼ホテニ程と親賀今をいらく其
所ニ内田昌庵より近著思ひ出ます久し一冊

を贈り来り、長岡銀行ハ七千五百圓迄金
全部消通也 昌庵ハ其心と爲る、平後
印創會此と判り、平沼の員を其ノ終つて
内幸町と相崎橋一と功の文の協定
岩崎家に居し、寄附金を案求するの件
を説く功全、平沼の心ハ一二の圓云を辨か
錦之山底と云ふ其心、徳永孝一
森岡目注、同古紙編分も、古紙同紙の
来故紙、昌庵、平沼、其心、其心、其心
捧げんとす也、夜、入り石像、其心、其心、其心
新渡及遺談の爲の寄附金、其心、其心、其心
報先者判り、

二十日

兩相及狂歌と申す、世に古くは、
侍の狂歌を五支、高橋義彦、東洋又序
よりモリソ、田代集、洋書目録二冊と云ふ、未だ
未だ所美、村山功、東洋又序、
奉天、田代、長衛、本利、支も、同、
論説と云ふ、未だ、午後、
在、施、
心経を言ふ、
増子、
3

二十一日

日

兩、今朝、焚香、心経を言ふ、
賜、
才、成、
三、
内、
業、
今、
と、

二十二日

兩、森、
山、

又彼の太陽に依頼する草稿著心は、その書を
費すのみ未だ、その松平頼壽伯に頼る、会館築地
新書長年也。夕刻大隈分館に到り、塩田場吉の款
迎へ、此の、新活石塚と、鮮魚の味、清と送
り来り、ち、橋本一、北城史都、技、夜、存、
マ、打、合、の、あ、あ、あ、の、来、月、五、の、上、等、物、長、年、新、
可、の、法、を、原、稿、に、就、て、大、陽、に、者、新、の、某、と、往、後、

二十三日

西氣海、危、之、の、輝、蓬、漸、々、進、一、志、け、し、旅、
を、著、す、理、如、也、世、刊、の、宣、業、日、本、政、味、に、就
乙、余、に、對、す、評、論、を、掲、げ、皆、不、可、也、と、云、書、

其、立、目、録、を、贈、り、来、り、田、中、心、也、是、以、保、存、存、
リ、余、の、持、直、毛、を、雷、の、来、り、直、り、三、枚、書、し、
送、り、午後、一、時、日、内、印、刷、會、社、に、到、り、二、時、
株、主、總、合、を、い、く、本、館、所、南、一、刻、四、合、決、
酒、也、常、務、務、務、引、退、三、日、吉、田、秀、人、も、常、務、
け、又、も、後、進、を、此、並、後、二、奉、く、酒、也、に、常、務、
職、主、を、當、と、進、り、の、件、の、き、金、額、に、関、し、
の、面、創、り、結、局、二、章、の、内、味、す、吉、田、秀、人
を、課、長、に、任、命、す、今、後、後、大、隈、後、佐、に、編、纂
の、件、も、吉、田、増、田、坂、本、と、協、議、す、夕、刻、
山、王、茶、寮、に、到、り、日、内、中、後、一、日、今、食、美、
食、部、に、入、合、す、本、館、余、の、合、社、を、

竹の葉其七十五九の用外、交際費二三百五十
円也。田中氏の荷運送料保額を以て記念刊行
書を贈り来り、昆田文二印も物と贈り

二十四日

陰年一千圓給り、預け入る家用八百円、
三交付、袴羽織一具新調成り、又江村一乘
脇差柄付谷米四石、徳永春一、新田千
里文と来り、梅、味、又、太湯の厚紙と郵費
共千五百圓、又冬、史、尾、手、初、自、意、の、物、金、を
贈り、青磁の肉池を贈り、價十五圓、揚、浦、午
時、光、七、田、原、尾、三、條、し、銀、十、の、物、を、贈、り、師

祭神田に二三の音を贈り、其、珍、桂
次、中、く、り、ア、ト、ニ、祭、祭、二、個、を、贈、り、印刷会社配
高金五圓八十六圓、二、九、五、五、八、(今、の、分)、と、是、る、由、十
二圓、二、五、五、五、八、(今、の、分)、銀、紙

二十五日

所、内、局、久、の、宛、方、荷、源、一、印、本、森、江、石、海、取、一
、郵、金、を、送、り、石、海、取、一、隨、着、山、陽、を、贈
り、印刷会社配、高金五圓八十六圓、二、九、五、五、八、(今、の、分)、と、是、る、由、十
二圓、二、五、五、五、八、(今、の、分)、銀、紙
と、華、一、七、時、を、移、す、錦、芝、山、手、お、慶、四、三、枚、送、り
来、り、二、百、送、り、入、り、四、通、送、り、破、損、有、り、補、充、の
為、の、送、り、来、り、也、早、大、雄、赤、合、の、桂、田、公、男

波多利あり、尋後、河の途に上えとて、寄附
金を集むること二十田を、新河の玄田初男
未納物を贈り、玄田未納人入社の挨拶に、未納物
を貯る、高橋義彦と未納、古久栄一と世
界文子論を、午に来り、午後出游、神田の園者を
贈り、田原元、酒原も一人、不在、河東惣
持相子、在、平部、伊豆江巻石、山本自
と、まじり、古田祥三、未納、佐又、河
渡田徳大、未納

二十六日

雨、在、京都、伊豆江巻石、三箇、在、大改、古田祥三
即、秋山陽、新河、三木武吉、三箇、一、電氣

局、交通の解決を、徳大、改口、献金、少、状を、別
有、石塚、中、来、功、名、電氣、局、一、件、を、内、議、す
中川柳外(毅)と、近、著、支那、三、る、家、法、を
寄、せ、来、る、誠、集、り、を、見、る、河、東、惣、持、相、子
の、舟、功、を、受、く、又、河、東、惣、持、相、子、の、家、法、の
基、村、校、書、に、新、河、の、道、を、出、し、示、す
十二時、内、務、入、寄、り、と、工、業、部、に、合、合
野、村、板、湖(資、次)を、新、河、の、内、務、部、に、合、合
遊、池、の、深、削、を、新、河、の、内、務、部、に、合、合
午後、雨、不、雨、と、あり、高、橋、義、彦、一、人
と、まじ、り、内、山、道、三、人、早、大、来、月、秋
田、原、後、川、日、程、表、列、の、銀、付、と、散、葉

八全に晩會と申す

廿七日

昨早朝のむね橋東美作楽部：到り都立者
林聯会費主たると同志を結ぶ、横尾も、前將
ひ入ん等、向忠正義代七十四拂馬、豊四、
保陰心地く保陰主三十四拂入、夜半、
助古河依傍村を持長、余の投選を請ふ、自言
心託を同志、彼編局古あふ、都立、下、午後、
乙中、睡意、眠、えのしく、眠、四時、半、東、
初川の、同、醜、分、臨、み、全、秋、定、の、善、林、
を、時、召、請、う、酒、主、徳、大、中、を、橋、板、を、踏、る、

於木卯三印、本、前、年、秋、の、主、を、一九の、ミ、リ、
却、成、田、教、惟、秋、田、を、り、あ、れ、利、入、々、又、田、
今、二、銘、木、海、方、島、不、橋、山、に、合、す、余、の、お、か、
不、海、海、一、八、今、宮、園、を、度、一、鏡、西、花、園、八、
を、吹、小、此、の、寺、崎、を、度、業、の、主、也、
傍、山、七、層、業、の、門、人、也、高、橋、義、彦、を、来、
月、二、日、御、儀、文、批、授、露、今、の、あ、る、の、状、列、
の

二十八日

昨田代、先、小、經、村、宗、八、子、孫、跡、を、内、山、者、三、
身、の、難、は、お、小、の、材、料、を、口、授、者、

終りしの時を移す、昆の文二一古河の時
三のま年功、高向軍者、今細坂本を嘉治の
増田義一とせ、矢野武中歴功の結果
を報告あり、一時面剣を生し、事こと漸々
解決をえり、相持條一も、山若者、西川清
の投網を賜り来り、徳大寺ら、相持
條一、淑忠を殺す、徳大寺を殺す、一時を
移す、相持條一も、事こと漸々解決を
高向義士の勳を、徳大寺ら、相持條一、
築地新嘉治、徳大寺、大隈、徳大寺、福
島、若津、徳大寺、徳大寺、徳大寺、徳大寺、
のち、向を買へ、徳大寺、徳大寺、徳大寺、
書問：就し、佐藤を頼り、及、徳大寺、此文者
ハ、近年史料、徳大寺所：徳大寺、徳大寺、徳大寺、
持主の祖光：武光、徳大寺、徳大寺、徳大寺、

二十九日

時、福島の藤井耕夫、五、向を投す、山若三、國若
の件、甘味、徳大寺、徳大寺、徳大寺、徳大寺、
出来、心得、分、刻、印、を、以、つ、て、印、語、を、出、す、こ、と、を、
し、印、を、交、付、す、森、脇、美、樹、大隈、徳大寺、徳大寺、
こ、つ、き、甘味、徳大寺、徳大寺、徳大寺、徳大寺、
児、女、を、徳大寺、徳大寺、徳大寺、徳大寺、
こ、ま、二、三、四、五、を、徳大寺、徳大寺、徳大寺、徳大寺、

森進不其や、東の旅館を暮し、夕陽に到
る其時、桂次守と申す年、間、保の旗を以て後
味、味、二指、別、未、

三十日

所、田村莊二、甲、更、の、出、流、の、子、孫、に、自、身、接、大、島、井
森、三、高、勢、見、の、ま、ま、に、三、十、日、田、村、に、交、付、為、合
言、に、此、古、河、為、侍、儀、好、お、是、段、に、献、去、耳
接、鐘、を、取、上、山、岸、舟、より、例、の、直、射、を、施、し、と
ある、日、密、文、驛、合、を、も、も、身、出、森、進、再、訪、し
来、り、山、陽、の、山、形、大、橋、を、高、く、し、来、り、鑑、定、を
請、ふ、傍、危、に、計、其、子、を、復、わ、し、と、云、ふ、徳、ふ、存
一、年、訪、午、夜、市、村、森、新、来、り、津、端、道、三、房、刻

製、の、穀、類、廿、夜、研、究、の、結、果、を、報、告、し、物、を、一
贈、り、し、合、津、ハ、一、と、申、す、且、の、甚、遠、湯、河、溪
の、大、硯、石、を、贈、り、来、り、書、面、に、不、早、の、二、字、あ
り、今、一、切、人、の、見、え、し、其、人、の、心、と、い、ふ、本、河、久、雄、正
訪、前、日、早、稲、田、文、子、に、投、信、し、字、を、謝、し、三、十、日、の
切、手、を、贈、り、し、此、後、散、来、津、末、改、に、物、を、贈
り、和、田、葛、堂、と、申、す、相、時、の、口、角、海、の、長、江、經
訪、り、し、早、稲、田、文、子、の、七、日、節、余、の、文、子、の、回、顧
を、指、し、

○七月

一日

明、今月廿八日、三武狀と夏、廣井一吉田豊可
法、三未武去、雷氣白一件、什来坊、横裏煖
傍、并改券費一千四百圓と決、一、道流と共、如
大江乙亥門式法、午時迄、又、雨、又、旋、
華、一時を移す、午後、光を伴、之、
日、活動、
病、
未、

二日

明、往、
台、
田、
費、
の、
一、
二、

三日

雨、和、
賜、
朱、

謗を賜ふ、古池素三らと奉子石画冊二本を贈
いへり神珍也、價千、川、館森神河王、崇年、是
稿の原稿を、持卷二年、の、し、と、初め、成
り、午、終、を、成、し、中、時、間、話、と、列、ぶ、高、原、次
梅、原、十、三、の、前、月、来、信、記、の、件、に、付、久、松、武
高、中、等、に、對、し、折、衝、の、以、末、を、報、し、今、後
校、訂、の、事、を、協、濟、す、中、野、森、福、中、田、三
々、利、二、傳、記、編、目、爲、事、勅、を、長、時、百、編
滿、し、夕、刻、に、決、ま、り、星、宮、茶、寮、に、
晚、夫、ら、を、廿、日、す

四日

所、石、塚、三、中、野、氣、高、の、件、に、付、話、を、考、す、古、河
爲、信、記、編、目、爲、事、校、訂、に、對、し、古、河、を、考、す、古、河
野、桐、谷、と、来、出、山、田、清、色、来、梅、坂、本、嘉
汎、馬、の、考、り、と、梓、直、光、亦、原、三、幸、四、中、に、も、
出、出、り、し、同、出、を、述、ぶ、村、口、方、彦、に、四、十、八、日、
小、中、田、南、吾、来、梅、坂、五、時、印、刷、會、社、に、列、り、聊
か、酒、飯、を、賜、り、し、新、舊、協、濟、會、の、送、迎、分、を、い
ら、せ、余、一、編、の、撰、校、決、説、を、考、す、初、四、葉、の、末、に、
耳、と

五日

時、賀、田、五、時、長、女、勢、の、子、也、三、坊、金、を、考、す

川返金池を以て山湯を築く。電氣局の工も始り
金三又三に付委任状を三来武吉に郵送す
楠瀬日年未後、又高島、高小巻、大津、徳十
二月、押寄成る、高橋義彦、高橋源一、高橋
高次郎の上中入、このとき堀澤、東土軒、町合の相
談役を説す、五時上野村養軒に利り高橋義
彦の北張史社、才巻、投宿舎に臨み、石堂子
入、三上、軍機、海島、増田、はみ、市施、中、代、飯、本
山本、塚、中、中、等、二十、数、名、来、合、の、会、を、人、を、都、計
て、押、建、し、合、早、上、法、家、の、演、説、あり

六日

時辰に蘇大、身、の、五、岸、道、の、偏、息、を、其、あり
了、袖、海、島、尾、張、を、等、に、法、儀、の、事、を、押、説、し
務、金、の、内、の、中、日、海、島、大、張、利、社、を、結、を、説
と、林、道、三、十、年、法、の、學、二、尾、十、あり、は、身、の、疊
哲、と、如、志、十、時、印刷、合、社、の、重、役、合、に、臨、み
前、月、説、る、不、成、後、也、二、時、早、大、の、推、持、人
合、に、臨、出、は、り、十、時、高、島、の、英、信、と、秋、田、に、訪、り、
旅、社、を、考、え、印刷、向、士、民、業、に、移、る、件、二、時、早
速、大、花、政、政、次、た、こ、を、状、を、考、え、本、嘉、次、馬
と、大、張、高、島、信、記、六、月、百、倫、家、終、り、延、助、の、件
并、二、右、に、関、する、経、費、し、件、を、由、議、し、九、時、下
日、就、席、し、こ、を、家、を、考、し、十、時、兼、舟、上、の、演、説

準備をこなし一行、高田、柳、前、以、池、田、と
余五人、此行、古、森、秋、田、を、経、て、新、宿、(三)に、初、見、し
た、主、に、余、の、目的、は、中、和、田、湖、の、探、訪、に、あ、り、事
中、海、道、を、ま、り、北、海、道、と、越、え、ん、と、ま、り、今、す、
一同、名、栗、に、一、杯、を、飲、み、つ、宿、を、こ、入、り、一、等、宿、に、
宿、屋、を、し、

七日

而、初、時、仙、甚、著、車、七、時、始、出、(三)に、ま、り、北、海、
道、の、宿、屋、今、の、仙、甚、著、社、と、名、栗、井、切、二、入、り、未、
一、行、の、為、め、旅、中、の、事、務、を、執、ら、ん、以、久、也、八、時、二
人、合、一、宿、着、海、道、に、別、れ、を、下、車、し、一、時、間、待、

ち、他、の、汽、車、に、乗、換、て、お、り、ま、り、一、ノ、関、停、車、場、
に、附、近、日、京、林、地、の、宿、屋、を、見、て、掲、ぐ、視、鼻、井、溪
山、麓、美、淡、尤、も、著、名、の、地、也、視、鼻、井、(三)四、五、美、
美、二、里、(三)とい、ふ、他、の、の、探、訪、を、訪、り、平、泉
驛、を、こ、き、往、年、一、中、尊、寺、を、訪、ひ、し、時、々、
を、追、憶、す、北、海、道、の、山、河、温、泉、を、京、河、の、
の、地、勢、に、似、た、る、宿、屋、あり、十、一、時、に、陸、中、の、先、米、
に、達、し、七、下、車、し、ま、り、北、地、に、新、比、ま、開、き、る、温、泉
場、あり、停、車、場、を、約、二、里、半、一、自、動、車、と、起、
り、三、十、分、間、を、走、り、ま、り、松、雲、洞、と、い、ふ、旅、館、に、投、
す、北、の、温、泉、の、場、也、ま、り、北、地、の、電、氣、水、業、會、社、
が、一、百、萬、圓、の、資、を、投、し、て、一、ノ、一、等、の、温、

刑區に引き来た也此地の風景を写真に撮影を東
京宅其他へ送る

八日

而、今朝七時二十分の汽車に投し十二時古間木に達
し午後十時和田湖においんとし五時起床出島の
用意を為す夜来の降雨道路あり自動車
の進行遅しとて停車場に列入り汽車の既こ
せあり次の若車に近し三時河待にても可なり此の
マゴキの為め十時和田湖に日中達し得るや疑問起
り評議を時を移す或は感盛云と一泊明日十時和
田を訪れを可とす此の夜も出たれんが終つて夜に八時

湖を渡りへしと決し茶店に圍坐し雑談を時
を費し十一時の汽車に投し車中柵瀬軍と他
と合ふ十二時盛盛をこぐ、えんとして古間木を四
時河待を要し奥の中山一ノ戸北福屋金田一三ノ
戸金吉辰内の諸驛をこりき四時二十分古間
木に達して下車す此の敷時経この地の多き漢
々たる草原より目を眺めしとるよるる車中
無聊を感ずるを、折の帯の地名辞典を出し
又、赤十、和田湖の圖を購めを換す雑談
をきき得て坐睡を催し来る、古間木より其の自
動車を駆り四里三本木に達す、此迄南部谷
より馬の産地より、三本木の馬市を以つて見ゆ

地より昨日来の雨雷人として雷は三本木と一
二葉内者の中へ来て今更なる自動車と記
り六里焼山に到り午時六時半より日未だ没
せず案内者曰く焼山より和国湖へ母列る三星
の間に溪流屈曲風景の賞まききありとよ
ろしく自動車周囲の視を撤し眺眺に便す
べしと又曰く溪流の密林の間に在り寒氣を完
べしと俤入のドテラを供す乃ち倉皇皇者
自動車は密林の河を走り一帯の流曲り流の
こころ湖を出入り湖川也快哉哉石溪石
に参差し老樹の枝垂れに遠く下りあり
舟の岸に欄干を飛いしる激湍の雷雨怒り

とるもの一畝の溪流真に一帯の名畫
て巨手を蹴り来りてんん言々雄きのありあり、
かろる四五の橋梁の溪よりなりて風波を添
わたり、飛瀑の高く懸つて路頭に及下りあり
あり、耶馬の溪流に比さんへ優る美事とて
天下の奇観なり、此河の地名を採さんハ石ケト
駒止橋雪井の瀧白布の流等あり、湖畔子
の口こそ遠く時心七時日漸ゆく雲淵に没
せし湖中の修繕速く没し見え難くす
倉皇舟を上り、船中酒肴の設けあり、一行活杯を
挙げ方を慰み、池田食傷の病を振いお
酒を酌して沈黙の状あり、舟は石油を動力とし

疾走湖面を横断して一時間後彼岸に達し湖畔の
世界公園領に投ず、于時舟八時をこく、青柳の息
二郎途中より一行に加入し、小豆原松次印するも十
和田湖の青柳と物言又途中よりいさよあまのりきあり
同泊一行の者の湖の仔細を語り、昨日湖の周囲を
歩し半歩の後十一時寝、就く角米にやまき湖
畔寒気を覚ゆ、宛るも晩秋のこころ

九日

雨漸や収まり、六時起床戸を排し湖面を尺の
に深霧雲霧鎖し山頂を没し眺眺し便るも
十時雨霧の暫散するを待つも肉寝を始す、教ある

の縁よりききを見るより、青柳の息二郎
相波の四子を知らず、大槓本一輪、最捕帆遠浮
天閣始信江宮得月まの句を題す、小豆原松
次印の夕見に「長家山外郷」の正字書を乞ふ一行
の古柳、肥ちる画を記し、床に臥す池田小法十
時舟を備して、舟先つ十和田神社を参す、
小豆原松次印に記す、但は自れの花見石の上
にある、空をのぞき、礎に代り、難きを覚ゆ、
境内密林深く、かつとよふ、ところ、いかにやけ
やきの類多し、勿皇舟に戻り、見時鐘時、蓬萊崎
をこき舟、小中山といふ、此峰、よき時を流る行
く小湾、屈曲ゆる凡趣を覚ゆ、料、一丁、

見り、瑞倉山と云ふ此の二山は峰の中間あり海を中
海といひ、東方の海を外の海、西方を西の海といふ此の
湖南圍十六里水深三百六十米、突海抜一千四百
里、天湖景の特徴と見え、二天は峰の突出す
ること、空を覆ひの樹木に掩ひん、瓦巖の少なきこと
等、うて規模の大い、此は翠霞湖、讓子風景の
美、いん、優、このあり、お美、時の美觀、恐、
天下、多冠、や、あ、らん、鳥、帽子、岩、を、の、き、日、暮
—と、云、あ、り、に、船、を、空、の、せ、て、行、厨、を、い、く、き、午
餐、を、志、す、と、い、ふ、船、中、冷、氣、を、一、く、皆、の、ド、ラ、ラ
と、煙、火、一、時、一、旦、焚、き、か、へ、り、三、時、出、る、亦、船
に、乘、り、岩、有、岸、の、林、在、に、舟、を、棄、て、二十、町、洋、
岸、を、攀、り、山、上、も、湖、上、を、下、瞰、す、ん、が、全、日、景、護、
畔、に、帰、し、ふ、空、火、を、又、い、く、こと、も、氣、旺、す、山、上
に、自、動、車、の、待、つ、あり、疾、馳、六、里、大、湯、温泉、に、着
千葉、旅館、に、投、す、此、地、僻、し、宿、舎、の、狭、隘、も
鄙、野、る、ん、と、陶、理、の、可、ろ、温、泉、た、ん、か、り、
質、の、さ、か、し、く、硫、黄、を、い、く、湯、也、此、は、馬、の
名、産、地、とい、ふ、と、南、部、鎮、に、属、す、此、は、小、夜
銅、山、に、属、する、諸、設備、を、又、い、く、夜、一、回、早、く、臥
す、

十日

時、五、時、起、床、一、浴、後、東京、出、る、以、来、の、日、誌、を、録

食後館主の爲めに教紙揮毫、騰龍軒
の類も此の庭前の池亦多く鯉魚を養ひ
ふかか也。庭松栂栂多し、依つて亦松栂繁
條の四字を書して懸る。九時四分、自動
車を働めて、村を外の禿山に廻り、揚
つをえり、こん尾去、浮鏡山より古河の徑に
降る。不光人、鏡山より、より、起かると、毛馬
内に到る。七馬の産地、その内、蘇湖南の舊里
より地勢、十和田湖の南方に高きを以て、此路
ある也。此野を鐵道、走るも、人々、撥り、自動
車と、起り、九里大館に到る。平時十一時、而、蘇
旅、宿に投る。着後、初めて、日暮、氣を、感ず、校友
交々、来訪、亦、武石、湖、一、り、に、合、す、食、後、有、志、者、の
囑、に、應、じ、數、紙、揮、毫、也。又、讀、書、會、の、囑、に、應、じ、
一行、寄、せ、書、と、り、數、面、を、能、く、讀、千、古、書、友
天下、士、の、語、と、二、字、の、書、し、余、の、白、く、題、後
語、を、録、す、二、時、小、學、校、を、令、休、し、講、演、會、を、
り、余、眼、を、患、ふ、故、を、以、つ、て、臨、ま、ず、此、地、早
稲、田、に、緣、故、あり、大、學、の、教、授、の、講、演、す、る、に、あ、り、
數、名、に、及、ぶ、七、余、の、来、り、に、初、め、を、せ、二、千、九、裡、の
市、街、を、寂、寥、の、觀、あり、附、近、に、探、討、す、る、に、あ、り、
地、も、あ、る、を、講、演、會、に、終、る、後、校、友、并、に、有、志、十
數、名、来、り、此、に、撮、影、余、の、書、を、需、あ、る、に、あ、り、
一時、忙、殺、夕、刻、北、秋、作、部、に、到、り、校、友、會、に、

臨み席上老壯の説を述ぶ同し席上有志と校
友を係せしむの歡也合さるる五六十年の出席あり
酣飲施布の物つり又飲去北町の助役鑑次
次頼鴨尾の北寺に來り淨應寺に宿せし際
遠るを語り又山陽が天杖の銘を心り
一面と茶箱数紙を所持する由を語り
訪ふて一覽を動す

十一日

晴後雨今朝四五の有志が山陽の天
杖の銘を心り所を高くし來り示さる外
此山平山北兩作の幅を示さる内卷湖南
一箇

を考し毛馬内通この際造りて想ふの表を
夫ハ時早今大波を覺す武石敬一郎又
の春日乗早口野に野野杉林の大集積を
又ふ麻改野に持り八郎河を又ふこを教
野北海に流るを折く並に海洋の如し相康
も冷し朝露の万々隠見え五博目野を
て眼界の及ぶ限り田地を吾々の北浦を
色くると一般の廣潤あり此處より一帯の
高地は高橋の林主するを又の乃ち石油地帯
るて黒川豊川ハ北地帯に属す前年日石
今北所を境より大噴油を又の乃ち豊
川區に属するもの也大久保追合土崎の諸

野を經て秋田に着る。于時十一時二十七分、駒
井上市長、外校友多く出迎ふ。自動車と經り
先づ鑛山寺の講堂を以て此校の創立十五周年
紀念會をいひらき、一週りに遊り陳列品を衆彦
の觀に供し、夕、閉會とす。此の會を
も迎ふ爲め一日と延期し、四族を樹る。款
の會を表し、校長横堀治三、一行を迎へて款
待、午餐の饗食を交け、食後校内を一由し陳
列品を觀み、皆内外鑛産の標本也。一時半辭
して石橋旅館に投ず。雨降り出て氣温下り
冷。此、より綿入を着りて寒を護す。校友
交り來海平、福德庵此地の生身也。鑛山寺

校列品中、鑛産、晚年心所の荒川鑛山標
鏡の巨圓二枚を冠す。又待度室に、鑛産の
畫幅を掲ぐ。大夫の紋服を着け、一漢
を賣ふの圓より、校長、別々ハ大窪、待佛、長
く秋田に在り、此圓會、待佛、在り、鑛山、鑛
山の圓といふ、上款、長三、海、待佛、の詞と録す
曰く、道途、寒、陰人多、買、不、惟、買、物、亦、買、人、人
乘人、時、人、爲、馬、去、云、則、去、購、馬、馴、傍、人、大、笑、似
稚子、變、於、質、諸、知、白、於、銀、偷、樣、爲、圓、卻、不、惡
恰、似、子、買、老、親、生、保、田、山、領、執、心、待、佛、三、海
生、書、待、佛、の、矣、事、と、傳、ふ、し、石、橋、旅
館、各、各、寺、の、所、由、其、の、巨、款、を、掲、ぐ、地、也、

唐の葉の御里也。鑛石多し。校附して平由馬鹿
の墓あり。此は信濃の墓あり。皆列り見る
のいとまあり。二三のはかきを東なる者あり
夕刻日消生人係。淡人合社の得。先招待
合あり。合もま。例とて。席：臨ち。未合。四手敷
名。合。秋。田。伊。米。部。別。飯。す。交。万。品。之。を。あ。く
校。新。石。の。り。七。考。の。井。上。廣。石。市。長。余。の。之。為。の
新。野。産。の。北。地。に。来。り。美。合。の。界。に。お。ぶ。の。一。石。を
吟。す。云。く。其。山。粘。石。を。遠。糺。糊。完。多。池。舟。出。柳。高
一。碎。何。故。少。時。睡。夢。現。死。入。洞。庭。湖。席。を。移
一。七。井。上。等。四五。の。人。と。飲。み。酣。醉。詠。余。に。ゆ。了
臥。有。板。本。三。字。目。昆。の。文。二。字。和。田。萬。友。に。云。状。と。なり

十二日

時々新しやのを。野の井上市本の鴨：成し。前
子也。権揮直毛。山若。秋。山。湯。を。野。の。池。田。龍。一。子
七。因。以。校。友。二。三。十。月。以。十。時。回。書。領。を。訪。か
七。段。中。去。村。乞。乞。夫。の。案。あり。七。段。内。限。を。観
流。見。且。の。其。の。不。存。の。稀。也。を。観。て。中。二。平。由。馬
鹿。月。方。の。新。本。の。神。字。日。文。傳。一。古。史。氏。又。一。古。史
神。皇。系。圖。一。信。濃。信。淵。自。常。本。西。洋。藥。物。考。あり
あり。根本。通。の。の。貴。書。多。く。此。飯。に。歸。し。其。内。を。観
る。と。其。中。法。家。本。五。六。種。あり。皆。珍。と。す。い。後
丹。陰。書。の。未。略。り。撰。出。あり。石。崎。藩。圍。の。本。を
圓。講。の。新。本。と。見。る。と。其。の。五。十。冊。其。中。法。字。の

伊勢物語を花す、彼も余の鑑を乞とて
とて出し、この回方、由特別回、お部、お入るべき
三四と見、見、尚ほ此、多く石、黒、玉、器、を、判
す、多く、推、唐、書、時、より、握、出、し、た、よ、と、支、政
々、々、々、感、い、る、城、址、も、掘、出、し、た、和、京、院、書
マ、リ、ヤ、の、立、像、と、す、外、教、の、行、い、ん、だ、市、時、の、紀、念
物、と、見、こ、し、十、一、時、は、回、書、校、を、能、し、て、城、内
に、念、館、を、開、け、る、校、友、会、に、協、助、を、請、う、高、田、次、長
と、述、べ、余、も、一、場、の、演、説、を、な、す、秋、田、と、因、縁、の、深、き
予、実、秋、田、の、市、原、の、大、なる、こと、之、れ、を、聞、き、た、る、は
校、友、の、力、を、待、つ、こ、と、を、説、く、午、お、を、た、り、し、後
校、友、の、あ、ら、い、る、と、田、城、内、の、今、秋、公、園、を、肉、見

す、園、内、所、在、神、社、は、平、田、島、原、佐、藤、佐、藤、を、合、祀、す、好、友、會、の、建、つ、た、と、す、佐、藤、氏、
勤、王、紀、念、の、銅、像、は、佐、藤、氏、の、廟、招、魂、社、
あり、此、城、又、留、城、の、名、あり、佐、藤、氏、を、言、ふ、
方、の、矢、を、放、つ、て、地、を、相、す、信、つ、て、此、名、あり、と、城
の、特、徴、は、今、も、石、砌、土、を、築、く、の、一、古、と、す、す、溪、谷
原、の、役、徳、川、氏、の、想、に、觸、れ、轉、お、の、後、吳、志、不
夫、と、表、し、た、る、為、の、と、も、信、お、今、の、信、氣、を、歴、去、り
漸、や、く、暑、熱、を、感、じ、た、二、時、は、徳、志、館、に、講、演
あり、暇、疾、の、為、余、也、と、す、於、余、に、休、憩、す、今、夜
明、の、今、林、に、た、り、官、民、の、歡、迎、會、あり、出、席、す

十三日

今朝来冷氣甚し、八時十分の汽車より秋田
を去り、井上市を以て校友十数人の見送りを
受て、中々所志然あり、此人等と此地の因を以て
ししかるの因知也、今ハ盲啞子校々長より、こ
んを以て縁を以て縁後とせし、余の初めを
経て、了り不き、鐵路ハ海に臨み、馳走、駢列
と指くんに、新屋、下流、道川、羽後、津田、羽
後、岩谷、羽後本庄、西目、羽後平洋、金澤、浦
家、湯小、砂の吹、浦、近、休、本、橋、号、を、経、て、鶴、宮
に達す、象、鴻、の、甚、甚、か、象、鴻、や、雨、に、西、施、か、旅、の、先
と、口、吟、し、た、風、景、の、地、を、ん、と、文、化、年、間、の、地、震、の、形

勢、疾、し、昔、時、の、風、景、を、一、筆、の、海、山、の、一、画、の、海、
を、し、し、山、田、し、地、を、海、産、淺、く、多、う、大、船、を、入、り、船、
ハ、多、う、多、う、小、船、の、海、の、深、さ、を、山、谷、に、去、き、ト、シ、テ
此、の、砂、地、の、以、り、之、重、く、去、り、困、難、を、感、じ、た、り、と、多
く、吹、海、も、砂、地、多、く、橋、南、嶽、の、修、り、と、北、地、の、經、こ
の、海、風、起、り、主、姓、生、の、子、を、説、く、鳥、海、山、を、理、る
又、三、山、を、見、り、多、海、山、の、秋、田、山、形、の、流、を、多、う、海、橋、七
千、尺、三、山、の、月、山、湯、取、羽、里、を、多、う、十二、時、十七、分、酒
田、に、着、校、友、北、馬、派、太、郎、亦、南、を、持、参、北、地、に
寛、文、身、間、河、村、瑞、賢、倉、庫、を、没、け、貢、米、を
大、坂、に、輸、送、し、て、多、う、良、港、と、る、人、を、ん、と、多、う、輸、送、
の、間、多、く、心、里、北、馬、派、と、一、般、の、景、也、終、南

一九四五の校友入り来る、次野大山の久しく
 飲む酒の産地より、佐野前川酒造(家五十
 家と名く産額も多かりしが、交遊の關係
 変化を生じ、近來振いずといふ校友が、
 千代鶴、即ち大山の酒造(家の一子)を酒を
 携へ贈らる、赤銘、奥羽自慢、二瓶を贈り
 之のあり、此酒田川郡山添村、赤某の馳
 名所より、大山の酒造より優ると云く、大山
 より國境、鼠ヶ沢を殊にトニ子、多し、
 故郷中一の難二書、一哩の二貫十、萬
 田といふ、鼠ヶ沢より校友、関太郎、年中
 入り来る、赤某、寒川とて、下車、世川の勝を
 船を操る、移定り、しが、月あり、浪高き、舟
 行不便の故を以つて、已む、寒川より海を
 後、浪中、入り来る、此人、世川流の東
 道也、車中、風光の一端を觀、四時、村
 上、着、直ぐ自動車と記り、瀬波、抵り、三
 島、旅費を授け、新泊り、松井郡、法務、
 未、余、有、田と養、直ぐ、亭の主婦、
 あり、を以て、松井を借り、宿、
 中、校友、
 宿す

昨夜不眠、第朝来、甚く早く、早起
酒を大呑し、松井と共、飲あり、揮毫を初らざる
多し、且つ飲又且つ書し、十時、列りに出、妓
を扱きて、松原と細細し、海濱に出、馳騁
し、三崎尾、戻り、一行と共、酒に就し、且つ
人の請ふに任じ、数紙揮毫、一時、四十五分の汽
車に投じ、村上と共、前泊男、今朝秋田に歸
し、恰も此車中、在り、此夜、石炭の煙、坐睡
を催す、新津、二毛、睡覚む、八、前夜、庫、四、
石塚、三、四、のり、車中、入り、来り、四時、十二分
新津、着、多、幾、の、校、友、に、出、入、余、も、高、田、吉、物
ハ、深、田、茂、徳、ニ、入、リ、前、泊、池、田、等、ハ、室、長、ニ、投

十、山、中、井、村、の、請、揮、毫、功、の、後、日、余、の、来、港、と
校、と、高、橋、義、彦、の、為、の、立、紙、依、志、神、の、指、入
覆、合、と、催、さん、と、一、時、河、を、言、め、去、り、大
部、去、り、来、り、来、り、揮、毫、と、七、と、今、夜、池、田
前、泊、三、人、と、高、橋、義、彦、に、校、友、七、八、を、招、待
す、余、等、も、亦、其、不、大、味、後、回、を、待、と、列、り、急、お
ろ、う、と、見、り、自、動、車、の、三、に、左、指、を、傷、く、回、に
梅、を、去、つ、て、松、梅、に、取、り、の、妓、を、招、き、二、時、迄、飲、む

十五日

所、九、時、起、床、病、中、と、高、川、橋、二、の、り、一、行、書
畫、帳、に、揮、毫、折、り、て、高、田、と、共、に、此、病、後、也、と

見舞ふ、更々、松井郡法の家を訪ふ、池田前崎より来
る、松井宅に於て午飯の饗を乞ふ、三時辭して
余は坂口五等舟の末之人を訪問し、魂舟に於て、
車室を窺ひ、も不在中、各所を尋ね、寄て来り、書状十
數通を請ひ、来り、中、黒田英雄、市山好片
口、あたり、の書状あり、た、所を尋ね、山陽に現す、
田久し、法堂とつて、の字人、もち、田山、身より、片口
ハ未だ、の人也、外、から、田山、直次、吉田、通、行、社、の報
函へ、寺、杖、身、関、大、り、上、院、長、永、次、山、田、教、城
吉田、初、男、尋、交、に、可、み、訪、夕、刻、行、形、亭、に、校
友、合、を、ひ、く、く、の、高、亭、上、余、一、場、の、談、候、と
試、に、銘、を、寄、る、に、甚、欲、し、と、深、更、ゆ、り、臥、す

十七日

時、本、日、初、め、は、日、暮、氣、を、免、れ、分、朝、六、時、前、島、也
田、等、依、海、出、り、午、馬、回、北、地、と、有、り、余、は、と
り、苗、ま、り、山、田、教、城、吉、田、初、男、尋、交、訪、候、に、馬
寄、り、義、彦、張、病、志、料、に、つ、き、来、渡、松、井、舟
崎、初、木、石、塚、尋、十、丹、美、尋、お、逢、て、到、り、余、の
魂、舟、に、於、て、酒、合、し、余、ハ、午、後、栗、林、と、訪、ひ、又
吉、田、初、男、の、家、と、訪、ひ、を、舊、向、を、話、し、七、時、を、移
す、吉、田、の、家、ハ、土、屋、と、有、り、た、り、く、く、と、鑄、器、の、家
也、頼、三、村、三、ら、り、報、後、に、船、の、日、土、屋、に、教、十
日、寓、し、り、り、と、三、村、の、音、問、敷、を、せ、し、
七、る、積、お、衣、の、二、衣、飯、あり、又、物、形、を、雪、何

事不成と考へて枝折あり。唐本豊田三原
座大なる由六時伊太利軒に赴き越佐志料
宣傳の以爲注し社と考へし席上余も
北者身行の任歴を述べ主人役高橋義彦
の爲り斡旋す。今更に松井杉木石塚中山
中村崎等、柱をえに梅に列し、酒に飽
き意氣不振十二時旅宿に泊り臥す

十日

晴早起一二の出来を認む。各所を驚きん等
書畫帳扇面短冊に數十教紙押立毛
食後遺又教幅を考し筆硯も花枝及舟
此一二畫幅と物々来り錦堂を訪ふ一巻を
載しと其子の日前崎池田の作後より由港を
待受井に由京と決す。関本より来り書、高橋
乳考古の寫り依史法を考す。飯打役二日
接略を吉田侯吾唐本賢市より吉田より
物と終る。午後村五毛の時を移し二時漸く
やむ。電流を濁川真崎に在るを洞ひ自動車
を起し二時半新沼を過し訪問す。麦余の
爲り酒二時分を別を先けて新沼に
ゆくの日帰車と決し宿舎を考す。又車
東京へ電報を考す。二十五日三人今を廿八日
二更更三時在東京お高殿に出来を考す。遂

香山回教城身印晚香を具すまふ早く所
す

十八日

時、早起事々、旅保を兼す、石原島来訪物
を貯る、亦人の囑に應二三紙揮、其真時
杜次印身印、因字を貯る、由時、
お梅の幼氣、五十四、梅、高、原、庫、四、印、身、印
貴族況多、歎者送、唇の件、二つ、内、後、一、去
、午後一時、二、依、派、二、掛、き、三、池、田、前、崎、一、行
内着、一、行、と、せ、二、百、五、松、井、松、木、舟、崎、等、に、振、入
二時、三、時、茶、屋、に、到、り、飲、む、例、の、こ、と、一、時、
解、短、を、讀、み、六、時、の、汽、車、に、乗、り、一、回、の、身
の、途、に、靴、と、信、車、を、ゆ、け、校、友、七、八、故、二、七、兄、送
す、来、る、今、回、に、旅行、の、仕、料、を、一、つ、て、保、険
會、社、の、事務、員、に、托、し、心、算、後、精、二、年、の、費
也、新、河、村、倉、余、物、別、の、仕、料、を、代、り、五
山、林、海、汽、車、宿、を、あ、つ、く、こ、し、く、ま、酒
を、飲、む、と、漸、や、眠、る、前、崎、一、人、一、行、を、服、し、
在、此、に、下、車、す

十九日

日曜日

亦、七時上、電、着、を、と、ゆ、も、不在、中、川、利、有、
の、書、信、推、を、あ、り、中、に、梅、子、の、き、こ、の、三、三、あり

田正朝即竹内金太の印、後藤雨堂の書状
信山陽の書と関し、多く材料を定めて来る
曰く、竹内は、未知の人也。和四萬五と来る
徳川故徳武の印、并に、手宮心伝の影を刊す
出版部は、刊元録歌を依二冊上段、手宮
手、高橋車七の、と名、藤朝の山、漱波美
高、葉子、新、福田、徳、と、徳、一、
カタリ、粉、二、代、利、来、東、五、新、四、今、の、お、讀
役、に、推、薦、中、々、新、中、是、ら、ら、と、い、い、電、の
書、を、深、ぬ、き、た、る、差、中、と、歸、ら、る、帰、宅、後、寺、の
元、重、奥、四、雲、花、未、法、馬、本、未、毒、母、之、計、刊
不、梅、瀬、博、来、話、不、在、中、の、の、を、記、し、後、施、
を、筆、す、内、子、克、を、付、の、歌、を、依、座、と、也、
不、在、中、二、三、空、品、と、換、成、る

二十日

町、里、田、英、雄、田、正、朝、即、竹、内、金、太、の、印、片、口、安、太、の
高、橋、車、七、の、印、今、日、並、海、等、と、考、究、を、な、す、
建、石、南、次、の、所、内、の、件、并、年、話、古、河、橋、書、の、
社、の、名、氏、の、協、定、の、事、協、定、文、江、第、一、文、に、
関、し、中、の、と、耳、出、向、原、又、寛、と、電、話、來、る、由、に、
訪、を、約、す、電、氣、の、向、一、件、に、関、し、三、木、武、吉、の、書、
を、見、る、大、池、素、三、の、寸、論、書、並、紙、代、十、八、田、井、

内、五峯遺稿の贖本一部成り、中田西吾高須
執業の原稿若干を持参、午後龍泉寺
し、交回者と聞ふ、分庫、一と云ふ名を以て井戸
側修繕し、こころつかまへん

二十一日

正午、相見龍泉寺を参り、その代松の形を以て持
し、寺の林三兒童分疎身を存候、あ回書治り
物水、その為参る人一首一冊貯り、山田西也
法、今宵八二と云、同と通る、十の時、内倉久寛
を日名合祀、この、大龍、湯ふ、名、校友と、同宿
し、宿を、宿を、来る、神の、志、能、を、訪、れ、二

三の、四、方を、得、し、ゆ、り、秋、の、秋、校、友、奈、良、良、其、
松、ら、し、其、の、不、危、の、山、陽、書、信、又、川、緑、中、田、君、
の、野、待、を、考、り、七、野、り、未、る、杏、塚、共、五、色、
あり

二十二日

昨、秋、四、秋、の、校、友、奈、良、良、其、松、ら、し、其、の、不、危、の、山、陽、書、信、又、川、緑、中、田、君、
上、原、之、と、野、出、を、考、り、新、の、松、井、郡、沈、在、野、
井、原、大、隈、房、之、也、状、を、考、り、又、後、原、南、中、
一、也、と、投、す、五、峯、遺、稿、一、部、贖、本、出、来、り、
後、森、神、(、四、) 校、園、と、治、り、吉、田、秀、久、日、
清、印、刷、寺、務、大、隈、房、之、也、一、書、を、投、す、

折向て時を移し漸ゆく信施界を築き案以
もす也。回方館協会の事務多し江順男故縁武
の為め寺に於て三十数家の心託を以てし未だ表
装の世話も此を去る。行樂記者久永岩穂才より
此地の原形と此の山の旅行記を寄附せしむ
余の書簡禮讃を載せしむ八月朔太陽為刊
一冊又此を以てし本林山後成るも未だ

二十三日

和電氣局一件身三木武光と早朝電話を交換す
且解決屋川の事務所より今日三木の事ニ燈債生
領収し音阪上来る例に注射を施す心託の装
潢を神楽坂表の所に託す。前島池田の出札を
更す。村井新の七五田印手改帳を更し
六十の向刻引了。金澤市寺崎文香に謝書
を以て美新田新三印手接。此の地所美のり
多ゆ森脇分持府身流。宅地租十の四上十九
支納付了。安田善治より、回方を贈る
る謝状を以てし。長尾羽賀の馬車中の
為の色紙二枚押し是を投郵。電氣局より
リ一千四百円給元。三木武光の手を以てし。史員
傷の貝舞金也。驟雨去来の時麦酒を飲みの
しく踐る。

二十日

向、前崎より明日、邊結、川開の合、報、之、旅、探
と、華、一、時、を、移、り、回、者、場、局、に、連、連、の、一、出
と、身、の、ま、午、後、之、と、呼、ぶ、出、ぬ、新、所、武、能、能、能
の、映、畫、も、元、田、原、局、に、故、も、御、之、外、出、寸、位
津、島、ら、ま、は、洋、の、土、産、を、贈、り、今、は、津、島、海
濱、本、林、神、傳、の、ま、ま、と、又、他、其、心、亦、井、功、二、よ
り、来、也、

二十五日

向、去、島、就、三、兒、童、館、の、件、に、耳、法、古、池、素、三、下、も
雲、根、寸、珍、帖、を、贈、り、亦、島、津、法、瀬、波、美、等、と、

向、う、味、場、一、村、と、い、ふ、禮、状、を、寄、り、人
の、場、と、い、ふ、一、扇、面、に、押、首、毛、亦、井、切、三、出
状、を、申、上、す、中、村、康、雄、雄、津、合、勢、也、就、心
事、訪、察、を、徳、永、春、一、身、法、五、峯、堂、亦、亦、字
料、十、五、圓、文、三、と、其、不、寸、珍、本、に、就、七、推、并
今、に、頼、ま、ん、二、三、枚、の、箱、を、此、の、三、時、を、以、て、大
隈、合、勢、に、利、り、塩、津、肢、部、高、須、外、二、三
氏、と、文、の、協、合、に、刑、行、見、ん、と、す、時、々、問、題、の
パン、フレ、ット、に、就、七、協、議、す、今、迄、あ、四、の、川、の
ま、の、前、崎、男、に、報、え、ん、電、傳、に、利、り、氏、の、五
十、年、振、り、大、歌、を、見、ん、此、日、大、隈、館、子、と、功
大、法、亦、春、次、宮、崎、新、之、印、を、し、傳、え、ん、事、初、の

此六月廿五日龍動着を報す電氣局より撰
抄の爲使及未の

二十六日

日曜

昨旭市中山陽才四段成り山田武村坂に献す其
後九時より榎川大乳寺に於て印刷分給迄
業員の州社以年物故の二十数名の爲法要
をなさむ協文飯を八月節寄給河金五十
円送り来る午後閑をぬき遊歩をすす冷
氣甚し中田海をもち切花を贈る桂月の
源平物語を讀むと如余の南書を以て
彼三人合をひきき高田前給り合飲す

二十七日

昨和田萬吉内山者三下と申出廣井一才
流而白伊土村の中村康雄三才の
付ひ来り余の寸時を撮影し時を
移す日施給に寄物と流天古池素三才
畫代三才山井平山を以て狀を爲す午後源
平物語を讀み午睡以て天川信雄(早
大教授)六月廿七日有巴里と傳えり

二十八日

昨程村素陽中田車乘此者飯森山俊以

自由道六ヶ所某交て其後内山者三：推演おす
録の續行と筆録せしもの多く時を多う、新
松井郡治ニ他市ヲ轄山陽をえり、新行をも同
七書きりえ、うき列る太陽ニ續載す、き書物礼
の行を修む、在郵送了、四時麻布の口を回
協合寺終不、到り、今津和の海島等と總載
の協合寺終不、就て内儀す、午後内山者二
移入、山北を、今夜和嶋井七、河谷
を紀業、跋、招飲山口、和嶋長、川、
未也。

廿九日

更々、三章、午後亦一章、二章、演
こ、夕刻、星、茶客、文部東、府の吏
員各一名を招飲、此、人文の協合を城、園、法
人、と、其、り、用、施、し、る、也、今、夕、代、茶
海、と、連、達、郵、使、も、箱、田、茶、主、と、合、見
初、日、を、報、し、来、る、回、山、谷、城、人、ら、前、の、の、協、合
ニ、據、り、録、合、と、報、誌、載、段、後、の、こ、と、を、内、派、せ
ん、為、也。

三十日

町、山、須、梅、溪、耳、功、大、浪、炭、傳、記、し、件、を、協、合
大、池、田、龍、一、和、田、若、玄、う、十、五、也、吳、服、代、七、中

○八月

一日

時、坂上公房あり江射を施す。並木是楠瀬小
久江中田福来寺交に来り、午後多。僅に
光を伴を教兼銀生に物を贈り夕刻回屋
に飲す。晚方、酒を飲ぶ。加藤首。お母
に大令下を指すと報す。これより、果獨内湖
但鏡々入ん

二日

而、昆の文二の、木幼長時、河辺向を流して去る。
物部を筆下す。石塚三ウ、所全る。因老を、新内各

の、酒、堂、定、ま、り、早、速、秘、糸、の、入、酒、を、見、り、早、速、三
一、間、を、定、め、七、八、錢、を、祝、し、此、方、あ、の、り、見、一、言、守
文、吹、大、改、も、こ、い、内、年、白、鷹、一、瓶、贈、り、後、出
午、睡、に、代、ふ、坂、口、就、吉、も、日、下、寛、立、行、五、山、年、
遺、集、の、序、文、行、を、送、り、来、り、

三日

而、此、方、あ、の、り、見、一、言、守
祝、し、三、言、守、此、方、改、に、早、速、三、大、位、に、申、老、し
置、き、た、ら、ん、と、重、信、を、一、出、を、執、一、東、連、便、に、托
夫、在、執、海、内、也、送、に、一、出、を、為、す、身、族
院、多、款、掛、尾、に、件、有、高、赤、彦、四、中、に

出状を覽す又和國萬言二也を致す村山物
く如耳の物を致す一蓮の函帖をおまを
一関前田友次石塚三郎の如く未橋淺子
三浅人分を致し二三の巻を贈り前月分廿
八日掛信晚河六吹者三束物新内因り巻
其官を擬せんとて詠言の如く後不
足を長とせしむればしと勧め候ふを
うと致す今御海遊海を来也

四日

和山田山心式法流波養神寺の爲書
懐二時一と付郵後兼袖海に筒を閑
三葉一と神田のむを村山三十一日掛入
本三十一日細山二十五日掛入
物一と光の友人夏目より花紙を贈り来り午後
讀書の時を移す和國萬言を致す

五日

拂曉より直ぐ有る溜り中桐屋大ら二風
呂に送す材料をおくる村山物に物致中
井積美白葉の存本を贈り三十一日海泊十
一日借本を三十一日同定厚の葉田初る午
後雨ぬり光を致す出給赤攻の映畫を觀
善田原を二領す好由遊遊も身問

六日

雨、昨午今も、前の撮影の余の寸法を言ふ
四五枚送らる。湖字二三、昆河の歌も、
海南未づら、しん移民の件、
しと時を移す、内島久寛も、
石油中業しを空の七未、午後八時を讀む、宮崎
新三、中桐、
浴史の印刷、
去る、別後、
相二二の、
日高、

七日

時、朝来、
し、
指、
二、
あ、

八日

時、
秀、
既、
左、

満員、夕刻中桐森をりしり高七もあつたる機
湯考と漢文又七馬魚の「娛樂の江戸」を讀み
河を走る、四府津より実夜十二時止り、河
系をりき十二時止り湯を原をりき、えんを扱
海をりき、おめを汽車、(こも)北間或
人とト二子につき也十二時半合扱海駝着
直に道邊の社に到る、道邊一時待つと待ち
たり、是れ長人なり、此の湯は八十三度、扱
海に於ては、極くきき、暑氣といふ、夏比
地に来り、此れ也、道邊、(こも)六月、勢力
の勢り、成りたる、漢割錦、徳の分類表を
示す、亦分目録と示す、三時、漢金子

九。

馬込松本、雲州、訪ひ来る、金子、洗を原の
講習、目、形をえ、教、ある、前、日、あ、来る、
そ、こと、で、り、一、回、宛、合、の、無、心、を、え、又、夜
こ、入、了、金子、考、去、る、余、也、道、邊、と、飲、み、的、研
寝、こ、就、く

七、五、時、半、起、床、扱、海、の、海、邊、方、に、也、其、の
扱、海、の、記、あり、し、や、き、い、美、を、傳、り、え、ん、の
三十、行、花、細、字、の、能、元、き、り、北、文、也、有、の、刊
本、に、漏、れ、お、り、し、り、(こも)字、元、の、十、時、也、
道、と、此、に、敷、策、扱、子、に、到、り、見、る、難、岩、也、

生美とよめるの道あり、其の途を回らす、
日正午七十九度、晴に比るん涼し、午後
驟雨あきくまに降る、と高松に押巻、道途余
の為のふち、ゆり、短冊に押巻、暖か雨
う、海岸に畑先を打揚ぐ、振る会車と置
道途去物と成、飲ぶ、今秋ふ道途のむ
志に所す

十日

晴六時起床、朝お後、露未ま、三四の曇
巻を高く見す、や、廣らに依文心、長
湖の古巻、あ、皆北地、今井氏、三、あ、古し
九時、道途、敬業、和、田村、を、つ、
海岸、出、つ、寒、の、後、海岸、の、料、理、を、
休、息、を、等、を、置、む、り、多、く、田、面、目、を、改、む、市
中、に、出、て、水、品、を、古、會、屋、を、訪、れ、物、を、購、ふ
と、好、め、方、の、物、を、京、地、の、新、多、の、政、務、次、官、を、
典、官、の、決、定、を、報、す、や、と、外、務、次、官、と、
吹、者、三、の、花、あ、り、午、時、熱、海、木、を、飲、し、
時、十、八、分、の、汽、車、に、投、し、田、原、と、決、ま、る、道、途、
其、物、を、自、動、車、に、同、乗、お、こ、し、に、列、入、る、中、
驟、雨、に、到、る、為、の、二、時、早、急、の、汽、車、に、乗、る、
こと、を、変、じ、其、後、三、時、亦、驟、雨、あ、り、停、車、
坊、に、道、途、を、婦、と、別、れ、車、中、後、出、六、時

半東京宛着直の由書不在市高田博士
市崎丸中野矢丈又依長次(酒の事)
主事(尋)河作後(改)政
阿通信并(後)自華(狂言)心者心
得忠を贈る英五郎(勤)者(宮崎)新三中
の信えりき利ふ

十一日

市崎の河ととあす、長崎の社三市崎丸
山田武橋中田通吾交(ま)る(鼓)森(社)海
五山(の)遺(る)正(別)二(道)校(訂)上(高)と
一(来)る(河)竹(書)後(の)海(と)其(る)夫(午)後(能)
銀(を)事(子)其(五)時(時)通(前)の(借)出(因)に
り(田)山(同)宗(合)に(松)井(殿)沈(り)未
書(琳)琅(珠)を(訪)り(四)五(の)同(書)を(購)
ふ

十二日

市崎の河ととあす、長崎の社三市崎丸
市崎丸中野矢丈又依長次(酒の事)
主事(尋)河作後(改)政
阿通信并(後)自華(狂言)心者心
得忠を贈る英五郎(勤)者(宮崎)新三中
の信えりき利ふ

十三日

雨櫃物後河より門側の表柳に手入を
り、朝平松原を著し、秋田市長井上原
石河ひ来り、五峯遺稿三冊印刷合紙に廻付
す、河井長俊に秋河酒の肴改修船を二枚
を贈り、熱海兵部局古画、余の印傍名家私
印百四十顆を捺し、三ツリを贈り、田代真友
来流平山寺の利物に公状を交す、本河他四印
三世死云、竹梅状を贈り、又一筒を熱海酒商
に投す、尾上紫舟の歌と「後名」を讀み時を
移す、夜未暮雨あり

十四日

雨故に献吉に二玉を考へ、田中正造此念
念し、浪況集下巻を贈り、来り、巻首三余
の題字をぬき、尾上紫舟の歌と「後名」
を讀み、降舟の為の巻のりくく、電燈を点
てぬをえり、ほ内道正より来り、野野空より
駿河志料目録(三)を贈り、来り、矢次任友、二つ
き祝し、と袴地を贈り、森林園美術家訪、徳
子孫を給してある、十二時内為久寛を二葉俚年日
に訪ひ、念子を遺す、と詠す、ほ内道正に、龍也心
陶米志の面を、包郵費と贈り、平山寺に交付
の余か骨董者、道後のも、好もとの、秋河の

乙辰に二三の珠書を終る。何ゆゑに迄に乾也。陶
器の能面を強ふ。衣のつきし玉をより、又刻
又二家あり、通富雨やま。

十日

不法隆寺村北島具作。大隈任考。名義の由状
を尋ち。故法房の日記を先任修記の材料と云ふと
し。其の借入のり。潤す。母甲堅。身事出。出
改ん。とよ。稲川集。余の序。を古と。廿日。紅葉
後。に。早大。出身。任大官。の祝賀。の。宴。を。法
子。通。醒。利。の。政。に。献。き。身。出。未。知。の。人。紀。物。
古。川。流。三。も。道。兼。山。陽。の。き。来。出。十。時
先。を。信。外。出。船。生。物。を。路。の。高。崎。尾。地。上
室。に。飯。し。映。畫。を。見。た。入。り。物。志。

十一

而、驟雨あき。前。崎。野。村。初。見。の。部。屋
つ。廿。二。日。夜。内。用。行。を。や。ら。坂。上。に。花。事。例
の。注。射。を。施。す。花。事。を。奉。り。七。時。を。終。る。早
連。新。心。事。を。汲。り。初。の。雨。漏。を。お。そ。り。回。考。を。終
理。す。召。倉。覚。三。の。英。文。原。考。を。讀。む。多。岐。の
杯。の。酒。を。飲。け。午。睡。替。り。て。あ。ま。茶。出。を。讀
む。秋。内。考。を。終。馬。場。も。来。信。

十七日

和風を来 天候未定より、朝或回方を整理す、
村山池し、御互に話、睡て又江村一合此の件に付、
改在、海古尾相陰も余の印譜を考へし、
此州、午後亦回方を整理す、在、房の、
窪に云状を考へ、四時日動車を廻り、
高体、到り、松浦伯夫人の告別式に臨む、夜に入
り、何の道、道を、面を照り、
御状列す

十八日

天候漸く回復、来雨氣去る、日清印刷會社
より、
三印未訪、政司の書、
一、あること、
別る、午後、五、
と四谷、
捨并、
余り、
ある、
五、
の、
宵、
贈り、
一、

三印未訪、政司の書、
一、あること、
別る、午後、五、
と四谷、
捨并、
余り、
ある、
五、
の、
宵、
贈り、
一、

余、巻首に書せんことをせむとて、則ち墨の
二字を大書して送す

十九日

昨日卯に船伊香保へ行く杆屋に留守と訪ひせ相
来五巻年への舊籍を抄心記す物南亭高湘南
の評語あり籍を一冊に纏めて余の筆中へは
九時印刷舎社に預り又江表ゆと今社の大体系
針のつき多時疑議領を定む午時石橋に
あふまをせしめて別て不在中旅命めぬ
行出の者久平某もも来由石橋より
木村吉房次来ぬ不遇後官免と保ぬ
午後九時

二十日

昨日、木村長傳次来り初夜に飯吉杉井部洗に
出れを茂る河原を後とて再問河を得て
杖を理す、五巻の茶箱を理す、五本元
大らし月夜五時とての出津田の書録を
評す、お多病、利の今夜早大出身の政
府に、入る、早速小山降旗武尋の為の積
金を送す、来今者、千数元、客、早大出身の
政府、入る、早速大臣以下政務治方冬興
宣統古有十二花とす、多報、伊香保も

二十一日

晴、煙草の禮讃を讀む。坂口敏吉の年記に於て
三十日星宮祭祭、五峯の詩友を合する件也
打合す。村山也。物來也。雄岳也。中村
原也。而白也。生也。死也。今也の字の
符也。と云。文三句也。の字の由くる来る。昂の
師。杉本折原。隨筆。山陽を經る。三十日の
今。つぎ。岩波。吾。意。川。依。原。寛。三。五。五。
彼。森。袖。海。古。木。乞。湯。杉。野。道。義。洪。
折。野。村。次。折。簡。久。丹。吳。原。平。一。五。五。

方、午後亦讀書。禮讃を讀む。午後又星
宮集のつぎ。同。生。功。名。也。同。岳。壯。大。也。
春。石。桂。湖。村。田。分。馬。院。也。屋。二。出。
状。を。與。及。五。院。録。を。著。し。七。院。百。二。也。

二十二日

晴、初書禮讃讀了。中田尚吾大隈修記の
物。耳。耳。話。丹。吳。原。平。之。卷。也。彼。森。高。
平。也。耳。也。松。雲。堂。主。人。來。話。午。後。袖。田。
教。業。二。三。の。五。院。を。記。ひ。二。の。五。を。略。つ。て。か。
へ。文。亦。也。寸。珍。本。五。洞。集。を。好。む。也。同。
分。也。屋。の。也。那。の。吳。將。也。托。し。七。院。に。比。り。也。若。

也

廿三日

日

所望の正養堂の集り、身命の遺のる(心)を得る
より神所(聖堂)古木(定)地未(比)の(心)を(岩)
溪(堂)の(心)名(六)石(魂)行(不)養、村山(心)の(心)
来(出)富(島)世(大)上(春)石(来)治、三十(日)の(心)出
席(を)約(し)て(去)る(時)を(野)村(定)流(梅)湖(来)る
者(共)を(云)り(す)午(辰)を(供)し(金)平(内)老(者)、
去(出)つ(て)後(旅)館(を)養(す)、三(時)の(供)り(出)游(物)
を(持)り、同(古)流(養)石(井)保(老)中(危)馬(の)報(め)

廿四日

時、朝(早)旅(館)を(養)す、八(分)流(一)と(来)出(閑)に
乗(し)七(珠)流(其)并(り)又(行)者(に)同(古)を(通)る
五(六)粒(を)贈(り)又(行)者(に)五(十)圓(掛)入(由)取
付(田)二(圓)り(瓜)月(中)に(飲)す、不(出)流(大)の(林)
二(接)夫、日(下)寛(野)村(定)次(を)来(出)

二十五日

雨、野(村)定(次)内(山)者(三)簡(其)四(即)取(根)外(く)、
面(白)伊(出)部(に)技(術)の(又)を(養)す、古(地)業(三)成
る(去)三(流)道(即)三(粒)を(五)十(圓)り(て)養(流)す、
驟(雨)志(き)り(る)午(後)取(し)て(説)を(積)あ、

雨朝、朝飯後、読書を後、一時を移す。此方、三浦の
 行を訂正す。内山有三三、其状を述ぶ。中村原、
 田新、石井、森、中、見、島、金、を、老、父、十、時、可、信、と
 先、と、世、に、出、世、銀、は、三、抄、を、婚、ふ、午、後、雨、急、と、云、し
 三時、池、水、溢、る、石、油、時、報、に、登、載、の、余、本、地、
 業、の、材、料、を、油、査、し、時、を、移、す、六、時、七
 時、の、向、雨、亦、七、時、八、時、江、上、朝、立、不、穩、の、繼、有、
 と、由、報、來、る、下、坪、の、家、も、妹、花、一、馬、と、雪、報
 し、來、る、

今朝の夜、雪、作、の、積、雪、の、大、多、く、と、報、さ、る、全
 部、四、米、庄、浸、み、崖、山、雨、冬、に、あ、り、此、の、四、坂、山、
 前、ん、電、車、崖、に、停、つ、東、海、道、海、岸、に、不、
 小、江、津、油、時、報、取、立、も、不、南、の、要、求、あ、る、事、と
 を、報、す、厚、硬、の、お、策、を、内、決、し、お、よ、内、山、南
 三、十、分、油、石、油、時、報、に、掲、載、す、と、余、の、隨、筆
 の、續、行、を、業、報、に、出、す、而、白、伊、豆、印、の、記、名
 中、村、原、原、に、已、う、お、せ、し、と、い、ふ、お、を、述、ぶ、
 画、根、と、あ、る、印、も、無、き、を、お、報、し、來、る、午
 後、一、時、氣、温、九、十、度、に、騰、り、甚、し、あ、つ、き、と、云、
 一、粒、村、宗、い、い、お、状、を、傳、へ、今、朝、の、婢、の、玉、子、
 三、十、分、山、を、す、又、刻、昂、物、也、

晴、少江集四一支の秀久、身リ印刷舎に移
工の提議、魁し結果と協議し時を移す、森
野美村山田所、此身出、印刷舎、庫にあり
け、多回者を捨てし、のり、あまの、遺棄を多
に、多、人を老し、ナ、プ、リ、ン、を、入、入、稀
復、を、二冊配本、印刷舎、の田村保秋
田行の余の、就、費、立、替、物、定、二、三、身、出、秋
田、及、成、田、敷、地、も、身、出、彼、森、袖、海、を、の、り、
星、々、金、存、二、三、身、出、二、の、初、田、の、首、出、を、移、す
細、川、の、所、身、出、定、九、十、月、持、備、村、口、万、三、身、出、
新、四、本、を、持、来、り

晴、木、定、通、り、身、出、未、坊、又、二、身、出、身、出、
版、部、も、金、を、身、出、借、入、十、時、大、隈、合、資、二
日、所、印刷、の、臨時、重、役、合、を、ひ、き、身、出、
身、出、を、液、す、石、井、存、中、の、計、列、す、四、氏
流、崎、補、道、合、の、山、岸、本、市、大、中、石、川、の、代、出
の、身、出、も、身、出、身、出、身、出、の、身、出、を、液、す
早、東、教、堂、身、出、早、大、生、版、部、も、身、出、
版、の、身、出、身、出、代、出、代、出、六、冊、三、平、文、の、絹、持、練、
二、冊、の、身、出、身、出、の、伯、林、教、堂、一、冊、を、配、本、午
後、五、時、日、以、各、回、也、身、出、列、り、同、也、彼、身、出、身、出、

汗襪多合に臨み十時由書村口者底に三
十の山者古居三十日幼を拂い今津八一
尾之山廻り強志満各榮生とも来出余
の地事十山陽に就て山田武村を結路の披
覆者到る

三十日

日

時高須梅屋大隈次傳記の件とのきり身功
段上弘花有あり注射を施す伯林有後を
讀む新島村崎崎唯々未出成成
史料元を并に致意を二る部以
り別遠難志美の四記者久米岩種

すの故味後と初め紙の指を一時百が
う華報せしむ五時星々念屋察に到り
故五山在士の待反を合し執詩をせと合
するも面合ち産田五碧を鼓木林袖
河有木中河河崎表在日下句外之例
？に余り外故に献告唯村梅の之定
九人也不在うと来とさうしあ桂湖打松
の洪水河依る石山石河毫のう執詩
と初天しのよの因は玉崎の木三の飯後
日比ある長故人を思ひ程々の後出と九時
半始合す一橋大寺時代日忘長久川
方文の記別る

三十一日

晴。七又の方又死云のき悔状を尋らる尾道
又栄道今更に高橋海印の河川文
状も尋らる古池印三顆代四十五田
珠瑠冥高橋の古物化る田拂、文行
十八日拂、高橋より荒干の田を
一、大石理田未訪午時迄を
候し物を辨るの向く、夕吹し
新田を筆下し時を候し、勢
時易を忘る

〇九月

一日 二百十〇

三年前大震災のありし悪〇刊、朝未
り村山ぬいゆ耳ゆ、此未今此観
徳九時と大隈分館、千と重役
形勢甚不安、海迄ハ大ら
利、義儀名協海、出服部
利、今此の内情と報、四時
高村、高橋、田、高橋、高橋
職、二、河、大橋、文、海
休末を電報、報、未

二日

時、大木操が世に云の報に於て、十一時印刷会社に
刊り、お前時、の重役二名とて、秀英、城
文二社を以て協同の實と奉げし、ある方策を
減し、キ後、保長を令し、前日、職上をも
提、あもを却下する、と告げ、今社の連
つ、別のあも、就き、今、一、同、同、
あるは、部内と、況、元、纏、あ、し、若し、不、同、
言とある、あ、撤、同、す、し、不、同、の、奉、あ、
る、社、の、令、社、の、決、ち、る、て、あ、う、と、告、げ、保、長、
等、の、同、名、を、表、す、余、の、こ、ん、ん、を、退、席、
ニ、出、席、後、も、と、と、こ、に、職、上、の、提、あ、も、を

の、こ、ん、ん、と、あ、い、若し、我、社、の、同、名、の、協、同、
ハ、協、同、同、し、起、る、と、出、る、こ、と、は、考、へ、し、な、る、も、
夫、英、の、協、同、充、分、契、之、切、ん、す、他、の、名、
此、協、同、同、名、と、三、社、の、形、く、る、の、又、あ、あ、
リ、飽、ま、る、秀、英、と、從、服、の、意、あ、り、し、る、は、の、
署、の、同、名、を、令、社、の、出、張、す、由、も、後、二、日、
ある、う、協、同、を、も、と、保、長、の、武、内、の、保、長、
り、あ、あ、

三日

お、今、社、の、一、件、大、う、こ、ん、ん、を、保、長、向、を、結、ん、
し、つ、あ、あ、協、同、を、得、協、同、社、の、連、め、を、協、

激見方のめりつ工業部を所管し、集らるる業の
星野鶴増四義一の長を判り、寺崎元重
才林山田仙仙亦司事する有る後、旋
を兼す、大木標の長あて、その内子見
の为大井村の長を功ひ香典十四円おくる大
森金吾より、君史紀念冊子二種を贈り、未
ま、午後合社に判り、小林俊幸二重級と、赤英の
ち木崎又の三田村来合、刑事四人七事
判事にあつて、二年未和島を収めんと、勢力の
結果、しつ切山崩し、成り、輪転部の多を収
夜を徹し、も強制納得せしむる方針、ま
り判物も大勢決するも、今分夜解決、ま

一、寝後電話を合社より報あり、今夜終三鐘
らかと、も音あり

四〇

而、小林昭美村合務有る、旋余を兼す、正
午合社より、全く鎮静にゆし、まとの報あり、今
次の件、合社創立後初のものなり、も職之無流の
要求の、午後と社外に、理得三三、因作、
リ、まの操縦、ま、勿論、ま、合社、
この要求を、軽視せり、柔則、可し、も、得る
方略を、えり、後、等、も、法、服の、じ、ま、
ま、ま、し、ま、ま、山の手三社、攻守、回、ま、

形成し、す、而創とす、自閉社解雇の是收也
又、先と見え、及つて、録接を得、其ハ吾社の
手柄といふを得べし、但し此類のことも、記を功
とすを得ず、此際善後の果、如何か、せざる可
らざる也、午後、事と信ん、七、福、四、散、集、団、を、睡
め、ゆ、く、六、時、半、至、五、時、半、部、を、吾、社、の
争、議、を、是、に、関、連、し、旋、依、殊、之、婦、人、旋、依、刑、行
者、の、三、印、刷、分、地、危、急、の、情、合、後、接、を、為、す
ハ、為、の、一、際、に、為、行、動、を、正、す、こ、の、由、合
と、為、す、勿、論、今、四、ハ、先、こ、も、及、い、る、治、必、不
七、今、後、の、為、以、揚、戒、を、為、す、三、印、刷、社、長、等、務
各、有、力、の、得、旋、依、高、尚、向、事、の、今、す、揚、田、美、
韓、越、と、つ、め、の、大、体、の、由、合、成、る

五日

而、十時、迄、を、代、め、て、始、末、二、物、を、踏、ひ、天、八、三、
後、七、時、迄、を、不、在、り、志、賀、信、光、の、榜、法、一
即、中、田、福、を、尋、尋、耳、の、村、尾、二、四、年、
舊、紙、瓦、瓦、法、を、考、え、海、を、重、く、し、し、海、入
若、日、在、外、史、評、を、傍、接、す、由、電、後、午
睡、定、め、て、清、山、和、入、る

六日

日曜

も、氣、未、ぬ、朝、の、難、報、を、事、す、三、田、代、其、成

よりおぼやかりの相場と大隈の終りに買う目的を
つたふ六次とて書きし古米七俵入を贈り来た。
廣井一耳法、税務署より十四年分才三種の
種會全額家族分も併せて七番九千九百四と
査定も道知をまじり来た。午後久須美雪を
詠人と傲るを臺下の腐朽の流しを修理する
田小夏森進も物を贈り、本宅他四より来た
ふ、久須美雪を福徳の家の色紙一巻を
示さん其の題金を兼りて来た。

七日

所、朝未だ狂信と兼り十時を印刷舎北の重役
會、臨あらり、母のころを報せ、若後の兼
と議し二時より物も、森陽子法、大隈房傳記
首部行心分七章と持参、野村松洲車
功、東洋文化、余ハ山陽存才三回出ア、海迄
夏、二、間、外、出、回、を、通、り、切、り、年、飲、森
萬、手、も、来、出、文、符、を、書、き、年、の、五、年、の
未、定、形、の、精、産、記、を、添、冊、し、年、よ、る、ん
と、氣、入、ら、ぬ、所、あり

八〇

時、在、紙、法、好、め、道、も、森、陽、中、由、福、五、長
崎、其、才、法、院、母、を、兼、り、法、院、教、を、日、一、書

野村文次一問を為す。彼森林神
三問し文符の事考を為す。坪内逍遙
三問す。午後借て福田に教来珍書三
種を得んゆへに。又刻し。天候悪し雨又烈し。
秋の井上廣居をもし来出。今夜紅葉散り
田前崎と飲む。彼森林神海より来書

九〇

時村山崎し助来次。隨筆。朝山陽を四日。臨
り評論し。中四民報到來。九時し出版部
の重役分。臨あ。古板馬恒し。此物拍を
大所桂月の記念寸餘。此二種を贈る。

午後降り。五時借て米國。この城令社の事
識に協力し。今よの四五花を祝き。其方を
祝き。ろふ。栗林羊一。この物を贈る。中四民
報に拙著を批評し。今。吾山六。友授去
田。今。一。問を授す。田代亮。今。二。状を授す。
古田良三。書の新刊。大崎秀雄。今。書也。

十日

十月十日

而風似し。平。松。及上。花。身。松。松。注。財。を。施
す。大崎秀雄。三。問を。松。松。を。著。す。午後。一。時
文。の。場。分。の。幹。部。會。を。大。隈。分。館。に。い。る。二。三
の。要。件。を。協。議。す。古。田。良。三。書。

之告外式：代人を書き、香典の用を、彼森系
平五峯他社に託し、記を再訂部送し来り、之次
光とほ老田原尾：彼森系保険分社に
リ、追秋田行、読書主協働定を報し来り、
老の五十二の節也

十一日

二万十の

白、彼森系神会、兼：田村保、河、旋、
美、光とほ老田原尾、是、時、を、
里、の、所、文、行、書、：方、物、代、四、十、五、十、
製、掃、海、荒、干、の、方、を、時、如、此、分、未、持、
ゆ、故、神、田、の、風、月、を、：故、う、出版部、

也、刊、有、用、備、他、の、案、送、法、を、配、本、午、後、
六、時、大、段、合、致、：日、古、印、刷、の、
課、去、等、を、今、し、：過、の、事、に、
を、な、し、て、今、後、之、警、告、を、並、つ、
す、不、在、中、會、村、梅、湖、来、の、
、多、額、納、税、次、送、答、る、。、意、以、派、多、敷、

十二日

天氣回復、日、古、生、人、保、衛、
五、十、二、日、古、生、人、保、衛、
小林、三、三、子、法、田、式、
少、乙、出、格、神、田、三、者、
く、は、こ、書、架、を、購、入、洋、

此の南唐書記出の身辨を讀む。井上公九の
夕刻の訪其地の八ヶ岳の美印を内務を受
く。

十三日

羽羽の施報を著す。羽羽の施報を著す。雷伝の事
望村の次子預けある。唐唐の施報を元及す
為の急。月崎の使を著す。羽羽の施報を元及す
吉村の次子預けある。唐唐の施報を元及す
この大い。昨夜死去の報。午後に出。本心
時。時。石崎の施報の本。唐唐の施報を元及す
を著す。羽羽の施報を著す。羽羽の施報を著す
三十日。羽羽の施報を著す。羽羽の施報を著す

十四日

羽羽の施報を著す。羽羽の施報を著す。羽羽の施報を著す
森脚の施報を著す。羽羽の施報を著す。羽羽の施報を著す
の二条重入。秋の施報を著す。羽羽の施報を著す
美言の施報を著す。羽羽の施報を著す。羽羽の施報を著す
と。羽羽の施報を著す。羽羽の施報を著す。羽羽の施報を著す
羽羽の施報を著す。羽羽の施報を著す。羽羽の施報を著す
久寛の施報を著す。羽羽の施報を著す。羽羽の施報を著す

昭文江成一棟漱博中禮四印一木林腸
經木等交と手功二時早大の維持又
二時と改上正花事う席一病縁流注狀を施
才、秋吉豊次に開す、今う字意海と云ふ
不日とて竣るゝと云ふ早大新設の園と改を
又了又前月竣成の運動場の不々二ドを
又、南雲虎記を撰初へ入るゝの石井
又、石井南雲虎記を撰初へ入るゝの石井
左と先出成（つ）花環をあらはるゝ

昭山田武村東橋、旅社を著す、十一時
才、渡をハたり、死去、其書を記して権を
和し、権を著す、大塚中町本住寺に列り先列
式、路出、経と上渡七寺、石井橋の中、糸
文、う、か、三時、ゆ、寺、寺、四、通、社
と、十、重、役、の、三、時、ゆ、寺、寺、四、通、社
古、事、の、一、助、合、不、得、税、の、徴、考、列、の、徴
税、額、四、百、五、十、由、田、七、十、六、丈、也、南、雲、虎
記を撰す

昭内島と電流を交り、改に献す、式、記、記

村梅湖の事を托す、遊覧を筆す、大坂新報
領の跡石本接、神田の志村を訪ふ、由金旅
安次、驟雨、思ひ田原屋に入り、酒居りしゆ人
る、後并、積出物入る。

十六

而、八分洋金、海より、徳の家記より三浦男
のこと、近物と、し、来る、未知の人、旅に、船曳、安
流を寸、珍奉と、贈り、来る、雑報を筆す、時
を移す、今日の午前、帝の、の重役、今ある、い、も
欠席す、午後、王生、奉、か、余の、為、い、ひり、なる、小
精、盧、記、と、揮、毫、す、其、村、の、他、の、記、をも

揮、毫、し、一、巻、に、終、え、ん、と、ま、さ、也、三、時、の、茶
久、寛、も、日、石、念、社、二、功、の、を、流、す、内、外、此、に、と
日、石、社、を、辭、し、る、内、表、を、す、く、ま、の、時、に、興、二
二、志、物、を、見、す、い、ち、別、友、波、濤、矢、の、け、り、節、の、
出、り

十九

時、高、橋、深、市、互、訪、訪、期、未、回、心、を、教、心、記、し、具、つ
以、を、入、り、著、刷、り、年、の、不、甲、海、義、報、を、受、る、
神、戶、の、舟、曳、置、流、二、者、物、を、受、り、山、田、武
村、を、見、す、也、午、後、亦、人、を、役、を、回、者、を、教、心、記、し
三、時、の、川、り、成、る、閑、し、乗、り、七、直、崎、藤、村、の、小、物

墨池を拝見して成る亦亡友菊池後考當つ
て余の爲りたる不徳底説を著し録す此
記は余が著す~~もの~~爲集の腕り等吹心り等よ
欲又九の余が爲りたるを撰ひ等よあ等亡し
余三記を著し等つて撰然り

二十日

日

時、後田久能寺の功也若二程を終る、高村
主の天守物語の巻の幅の鑑定を乞ひ、
長内河原と去る中本邦の輔外三の
橋下、午後神田とを散策、物を購ふ、
の見方と購ふ、積り、度本義書、本初甲、
如葡萄苗一画と贈る

二十日

時、真崎里三、高木忠義村の橋十部、
来り、校上、献上、功也村、去る、
十由を托し、先々、林葵、未支、
時、乘り、せ、外、生、記、
下、家、の、致、五、三、
時、華、族、合、
今、二、
場、城、
天、京、
七、
成、
成、
成、

り来信

廿二日

明朝年旅保を著す、本林陽才より時大馬
井岸三死亡を傳ふ、朝倉龜三兄世相年
代記十六冊脱稿の由を告知を傳來し
示さふ、廣野崎の玉井源心といふ未知の人
リ一尚を著すを乞ふ、山陽に定むる電井
昭陽の考尚の字を贈くる、九時半印刷
今此に到り社務を協議す、歸る社業革
新の根本に觸る、并考を約し、午後後志
本旅保を著す、玉井源心に復す、

廿三日

明朝年旅保を著す、朝倉龜三より來
言、出陣柳子より物を贈る、午時頃かき回屋
屋に候す、午後大馬を并三の告お式に臨む、
宅にお輪二本撰に在り、従後三時を待て日
本新考記著小佐井清平、身功余の文藝
談を傳ふ、ある言後を約しと乞ふ、秋田の井
上廣平氏より身功、段に献す、山形村松
洲へつき、出陣柳子、北海通到路未如の人、玉
木金次を乞ふ、山陽に就て、部出列
る、本旅保家の墨書、終定を治む、と
の用傳也

二十四日

明山田武村来抄、久江成合紙の内状二つを
未功今後之時に移す、大改玉出所(六二二)
未功の人形を定田男とせし迄、草山湯に就
て来出、池村定次入院の病院(月崎栗田直
院)もし来出、泊者中の子婢、由系、改口献吉
と云状を更す、藤本定男に復す、旋紙を
著す、松平原四に云を著し、秋田市と井
上原長根の根以、殿下、款中、文の直しとせし
と、午後早大の田也、彼に別り、彼去其他と州彼
式の簿列二つと、終儀す、迄、芋、頼山陽、才也
彼の印刷にかたり、~~...~~ 也、昔出版部も、~~...~~
り、井上原長根も、未功

二十五日

而、村山抄し、池田龍一、楠瀬日年、又、功
松平原四に云状を更す、旋紙を著す、十
時頃、雨はげしく降る、讀出時を移す、
房、漱、淡、名、の、の、好、房、瀬、富、太、の、楠、瀬、の、紙
似、も、未、功、其、家、に、傳、つ、る、多、く、の、古、簡、卷、を、高
く、~~...~~ 白、石、寺、簡、の、新、書、法、帖、を
受、く、若、川、才、二、十、四、日、死、云、の、報、列、を、得
直、海、も、も、の、物、同、采、去、と、八、八、兄、二、付、年、者、有、り
余、が、書、簡、礼、儀、~~...~~ 後、村、太、佛、今、日、佛、~~...~~ 抄、載

旅徳到達多刻如出視生：到日井美善
：知りて物一、渡尾毛勢不慮しむるを
火傷危馬の報又列に出の

二十七日

和、荒川才二、市電を及す、石路三、出
東、多功物を賜ふ、七時生家を出て口比谷
田也、和：和田村各太田今、守と若原、以自
動車と御り、物田、茶、吉と目里の御：
訪りて、徳の頼倫、後、後、田也、彼、場、会
の持来、百、過、般、物、同、く、入、元、此、こと、あ、つ
と、頼、久、侯、と、御、親、と、其、親、と、こと、麻、布、の

事、物、也、と、徳、の、御、事、の、子、物、本、と、先、日、付、の
徳、の、家、に、於、て、手、袋、に、古、箱、百、の、同、家、の、地
子、と、し、て、撰、抄、あり、九、時、節、し、七、余、の、日、本、橋
東、美、伊、守、に、於、て、於、け、る、圓、也、の、是、三、層、に、立
寄、り、荒、干、の、圓、也、を、鑑、み、午、時、今、頃、三、時
合、い、せ、た、る、相、合、も、是、三、村、の、子、河、中、と、桂、七
井、原、守、下、の、酒、飲、も、い、は、る、内、山、南、三、と、も
才、山、江、子、重、忠、丹、の、鉢、列、と、木、塔、也、る
依、伯、仲、為、川、付、才、山、陽、後、と、時、を、物
才、依、伯、仲、為、余、の、傍、也、山、陽、に、居、る、も
の、文、福、を、示、す、晚、寫、田、原、尾、に、住、る、也、
名、を、與、ま、す、新、居、の、高、原、座、下、印、来、送

而冷氣を以て相来施保を兼し時を移す後
 運式印印初井最一を伴ひ来り墨蹟を絶定
 する江戸切支丹屋の史蹟を讀み予
 時ニ到る杉山重義より快氣返記より物を
 贈り来り四時予上野の梅の雪を以て四醒
 令に候お令負保回鏡山谷の寮の談を
 為す令令後由書、彼素萬手とも来り五
 峯遺存但方且つ校りて報し来り、後日
 献去りし来也

墨天竹伯仲危しし隨筆山陽の書後三
 題下之文籍を以て来り、同一者このまゝ大
 阪の森本定男より来り、朝久巻三元七より
 年代記出版の件有る、彼森本伯仲
 伯仲危し、間す、平山幸利中書来り、全の
 為る書三つき協識して来り、森本伯仲
 後江幸重忠母の葬式を以て人を老す、山崎
 光次印しし余の書問礼讚、就て来り、日
 本新書記者が竹井清よの誌に在り、漢刻
 圖書跋、就て一時了す、此より余の絶筆を兼
 録しし也

二十九日

而、朝来難保を著す、田村狂次中
人等、このまゝ来訪、後、献書を以て、
梨子一函を贈る、木崎、夏、
且、昔の好一束を贈る、来、早大出版部
より、余、久、過、筆、出、陽、其、他、著、書、の、印、税、六
百七十九圓九十錢、物、元、本、年、六、月、末、迄、の、勘
定也、所得税、四百五十五圓、納付、畢、
田文、二、中、日、功、勞、御、但、念、法、に、就、て、後、午、後、外
出、本、の、珠、拾、遺、を、功、の、本、若、回、譜、代、筆、
歎、る、三、十、日、拂、為、携、尾、文、行、を、出、
三十一日、山、拂、為、
田、金、村、濱、村、の、公、産、
の、公、を、贈、り、
本、山、打、子、在、
山、湯、
る、田、引、出、す、
と、し、
懸、今、
券、引、の、
流、
入、

三十日

田、金、村、濱、村、の、公、産、
の、公、を、贈、り、
本、山、打、子、在、
山、湯、
る、田、引、出、す、
と、し、
懸、今、
券、引、の、
流、
入、

和、今朔平山堂を功少と十月下旬余の道中
を責印と打打会を為す、ある内、ある者、素
骨、菱、花、干、紙、を、換、出、し、七、既、に、平、山、堂
、交、付、し、ある、三、百、點、に、追、加、の、書、也、金
、鹿、皮、の、紙、入、を、個、子、山、堂、に、持、上、り、代、價、三
、十、五、圓、拂、上、金、貳、百、圓、銀、の、一、部、計、入
、三、井、上、秋、田、市、長、と、は、依、頼、さん、の、東、宮
、親、迎、文、物、示、原、四、の、年、入、を、経、つ、三、井、井
、上、部、又、は、あ、の、長、治、ら、く、う、文、心、協、会
、の、其、の、書、を、し、て、今、ま、ま、書、目、字、の、附、の、報
、告、に、掲、げ、ら、れ、改、に、献、上、に、送、り、亦、松、平、系
、圖、に、添、せ、る、後、も、兵、部、の、本、山、村、安、村

忠誠印に込められたものを投ず、野村市立五
、六、年、の、軟、膏、と、字、の、七、五、の、光、を、以、て、し
、紙、上、に、物、を、持、上、り、亦、書、上、に、送、り、森、坂
、の、藝、術、館、に、映、畫、を、見、し、四、名、三、河、尾、に、送
、し、と、傳、へ、る、徹、首、書、家、兩、名、

○十月

一日

而、朝、来、書、信、稿、五、十、點、を、換、出、す、追、加
、と、し、七、平、山、堂、に、交、付、し、責、印、に、附、せ、ん、と
、責、印、に、就、き、多、く、愛、惜、の、意、を、示、し、他、日
、責、印、を、而、創、る、の、事、に、地、場、の、割、愛、と、決、す

價約三千圓程のものあり。増又録し客の病
の謝儀二十圓領あり。車夫も此宛の御返
合の決定を報告し来る。阪上弘亮も御返
状を宛す。中村寅次録本萬平も御返
を其の十八日早大新圓者録の一書に余の
寸珍本を出陳する。二書本の三書録採出
平山あり。書状を費す。御返も其の御返
邦樂屋の歌謡を録し。此宛録し。録し
洋文抄書

二日

而此宛を録し。右宛の御返も其の御返

と録し。田舎宛：御返も其の御返
一二日刊の書を録し。御返も其の御返
山中物抄四十八幅。屏風を交付。廣
井一守録。圓者録。寸珍本一書。為持
巻。開板式の御返。録し。内山者。三
野村寅次。録し。来る。此宛。録し。近刊書。是
利の御返。御返。録し。来る。

三日

明。廣井一山。田武。村東。昭美。村維。波。此宛
又。江。保。二。文。二。録。抄。楊。井。治。四。印。も
本。六。十。一。時。日。新。早。大。圓。者。録。二。利。り。事。也

要す、又陣列志とて因とを換し、午後後神内、
四より二三番房をたのむ、因とを換し、山本
書底く三十四冊を有る、十九日、山本、
拵、後、山本の存在、
有、山本の拵、
す、久須美、
大改の、
送し、
印一、
久永、

四

日曜

時、細末、



持、
却、
平、
頼、
厚、
と、
の、
美、
美、
遊、
乙、

五日

時、朝来、其日、蓋を懸心記し、其印の爲め、
検出、蓋をとり、持参のものを保せ、七、
日、平山、巻、引、海、方、田、村、壯、二、印、来、り、文、吹、出、
院、の、子、を、取、り、大、改、の、原、本、定、田、男、ら、を、
田、方、山、陽、村、の、對、坐、の、圓、山、陽、堂、(堂、の、文、房、
茶、器、陳、列、圓、の、方、を、二、枚、を、贈、り、来、り、
旅、程、を、兼、り、し、時、を、移、す、原、本、定、田、男、二、
書、を、授、す、山、田、武、村、来、接、合、(印、は、
二、書、状、を、取、り、す、午、後、又、旅、程、を、兼、り、
午、後、平、山、来、り、道、を、七、十、五、路、交、付、
其、印、二、出、れ、を、取、り、早、速、懸、心、記、す、来、

と

二〇

か、わ、り、難、段、に、就、き、す、中、五、十、年、道、程、存、云、る、を、
兼、り、傳、へ、し、り、か、人、に、七、合、此、の、事、を、内、藏、し、
又、七、を、身、所、定、に、送、り、去、田、男、入、七、日、居、り、
改、書、件、を、内、藏、し、流、ら、流、送、事、を、入、此、七、
事、こ、と、の、可、不、ん、こ、及、び、多、く、の、時、を、取、り、
江、東、田、七、四、六、に、飲、し、余、一、時、茶、旅、を、
平、山、の、文、的、海、方、海、方、に、送、り、石、井、徹、大、
平、山、海、方、に、送、り、此、後、と、海、方、旅、程、
持、去、り、日、本、界、茶、葉、の、物、を、取、り、海、方、

の講をたゞ目と仰げりし海濱のり四時分
の合坊に松を贈りて社務を由緒大
如電に道葉二冊を贈り池田此一本
秋葉も来也、村井此の七る因形致
更なる二十の間延致

七日

あ、大槻が電山崎宛途中に、出状をせらるる矢
吹者三内藤久寛に、出状を寄る九時、西印
刷分社に、利りも寄る十時、重役各
に、此の、社務改革案出で、委員を奉付十
三日午後、藤井、伊東部、集會の事を決す

其他二三市宛の、すを、決す、安田、右次郎
より先代の傳一冊贈り来り、由、筆後能
部を、寄る、十日午後、藤井、伊東部、集會の事を決す
同書、館場、行、取、分、十二日午前、文、印、協
合、午後、藤井、伊東部、集會、と、口、を、定
む、松平、康、園、に、贈り、し、由、藤井、伊東部、集會の文の
互し、出来、この、由、藤井、伊東部、集會の文の
川、る、交、れ、し、由、藤井、伊東部、集會の文の
附、し、て、お、く、り、来、り、松、竹、丸、幅、引、か、久、也
永、松、穂、美、の、園、能、法、の、為、め、余、の、説、を、也
と、あ、ら、ち、流、し、し、著、り、記、を、し、し、由、藤井、伊東部、集會
山、陽、の、宮、方、ま、二、枚、送、り、し、由、藤井、伊東部、集會の文の

一方の... 且つ... 龍... 龍... 龍... 龍...
龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍...
龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍...
龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍...
龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍...
龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍...
龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍...
龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍...
龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍...
龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍... 龍...

八日

わ、堀畑... 又谷村... 堀川... 平山... 今...

午後... 定... 未...

九日

雨... 三... 平... 松... 中... 本...

若干の珠を贈り得たか入る文行を前回の購出代十九月拂出

十日

雨朝来、雑報を著す、小江村二十町、分祀改革に伴る内儀時を移す、山陽の、
関し未納の人、兵部、松平、原、田、村、昌、
山、丹、
其、原、平、
其、附、金、五、万、円、未、出、金、を、送、し、数、年、納、付、
せ、す、取、引、後、を、受、け、す、今、る、に、及、び、な、か、ら、山、の、田、

考、納、金、成、立、引、金、附、名、送、る、表、を、要、し、
余、心、其、の、約、を、果、す、こ、の、り、を、得、る、こ、の、り、と、
全、出、金、の、也、出、取、部、も、係、納、付、
残、額、未、年、中、完、納、の、約、也、五、年、者、
こ、の、り、改、め、納、金、之、状、を、受、取、す、出、取、部、
を、新、刊、進、給、隆、吉、の、易、の、変、世、以、
賜、り、未、る、原、本、宅、男、今、付、一、も、未、出、
麻、布、
伝、い、
未、廿、日、校、算、金、の、附、金、相、待、こ、の、り、未、出、

十一日

日

尚、早朝平山堂を沁るる意主の打合をす
尚、骨董五十點を過加克と一由書後換出
之時を移す、多収目録を沁る平山堂二小
道、骨董五十點二枚、折小、骨董二と二交す
吳貴古、柳、菊、松、梅、竹、和、四、萬、吉、と、三、年
出、木、崎、曼、吉、と、同、く、云、才、妻、紙、後、と、出、東、
竹、内、子、四、枚、と、沁、り、し、物、を、老、り、

十二日

雪、阪、口、献、主、と、同、く、極、如、香、湖、山、崎、克
次、中、と、同、く、三、十、時、文、の、協、同、子、務、不、に、利
り、文、の、出、物、其、他、の、子、務、と、同、く、午、後、同

不、二、大、浪、産、伝、記、協、道、家、の、協、議、と、同、く、
今年、末、と、一、切、説、行、と、決、す、四、時、地、金、作
四、二、回、と、一、二、考、産、と、沁、り、し、物、を、老、り、
又、七、折、年、代、記、刊、行、の、件、有、来、法、菊、池
崎、勇、三、回、と、一、切、拍、と、沁、り、し、物、を、老、り、
為、持、考、主、内、為、久、克、と、同、く、今、年、入、出、物、列、
示、山、堂、と、同、く、骨、董、と、同、く、日、録、と、同、く、骨、董、
作、し、て、来、り、見、病、と、同、く、久、吹、と、同、く、花、と、同、く、未、
と、同、く、

十三日

陰、阪、上、弘、花、と、同、く、注、射、と、同、く、施、主、平、山、堂、
僕、目、録、と、同、く、一、切、一、連、達、と、同、く、曼、吉、と、同、く、五、峯、貴、と、同、く、

の越谷を越る。龍泉を兼有。古池(改姓亀
山業三)浅井柳塚の寸珍(卷十二)龍澤持
冬(二)方勝(八)入(二)大石理(四)也(領)津(列)田(三)也
未接。午後二時。蹟業(佐)木(部)・社(を)印(刷)舎(池)
の社務(改)革(と)関(し)・委(員)会(を)開(き)・二(時)其(席)
・臨(み)考(考)め(り)し(て)・意(見)を(陳)ぶ。・委(員)会(は)前(時)
増田(坂)本(小)林(四)名(也)長(時)可(二)之(を)會(談)の(末)
若干(の)案(を)得(り)・多(敷)池(田)の(生)命(保)險(社)
去(り)根(え)ぬ(事)を(設)け(り)・社(を)印(刷)舎(池)
・生命(保)險(社)に(代)理(店)を(設)け(り)・第(一)集(二)つ
と(え)其(の)額(分)金(を)印(刷)舎(池)の(収)入(と)する(の)契
約(成)立(し)・今(日)の(故)に(此)會(を)見(る)・ゆ(り)大(隈)三(尺)

信記の令を古山(大隈部)に(い)く(と)件(を)森
脚(来)訪(今)津(道)海(も)も(と)改(山)方(方)
和(河)善(古)山(出)状(列)に

十四日

町・安田(善)治(方)の(修)徳(舎)も(と)甚(業)安(田)又
の(協)會(と)安(附)有(り)・三(つ)き(に)安(田)家(と)村
武(井)守(山)・統(城)皇(三)の(り)・田(礼)の(り)も(り)
自(動)車(も)走(ら)す(り)・十(時)古(山)の(大)隈(部)
と(列)り、増(田)中(心)坂(本)種(打)森(野)の(五)
人(と)共(に)大(隈)先(夫)信(記)に(付)て(の)令(を)
い(ら)す(余)も(り)の(死)を(報)告(し)

本年未だも稿本全部 取纏めの事
 来年九月に出版の事 糸二十月大
 リ来年九月に出版の事 糸二十月大
 出の件に付き稿本の未だ出版部
 田早稲倉大各千回出版部千回
 田段本各千回出版部千回
 かく辞し 余は神田の氏自先を致し 田者
 を進め終に浅谷の浅谷屋先を致し
 乙二二を得七地する 大江乙二年物 六時
 リ早々因茶屋来て 余主人と云々
 二日坊印利 積立の概 厚く云々
 受けたる 秀英 坊文 二社の重役を担

飲酒を志す大み明心前坊
 丁の院 柳杉柳光等と 招うる 木崎
 愛吉等し 自ら寺に元重未り 香煙を燃

十五

晴 三交 塚新田村島 仰り 三巻と 巻下り 日下 宛
 相合 巻三 三巻 三巻 三巻 三巻 三巻 三巻
 葉下り 田中山道 遺跡 待合 舎より 自叙 傳
 と 贈る 来り 春湯 書の日 村隆 仰流 初期 文化
 戸崎 浦 島 三 村 才 功 余 の 意見 を 徴 す 山 四
 民 村 耳 孫 委 視 殿 刑 事 巡 査 部 長 野 村 誠
 一 郎 宗 家 の 金 杉 土 地 買 買 一 件 行 事 了

今分設計者依在場士外四五と念
 ずを共す。終つて高田の今日、日清印
 刷分設改革の俾海多夏問題大隈
 侯徳記海軍省の件。この中内閣に
 三時帰宅、石川勝流と来て出、支江外一を招
 き、今此の改革問題と内閣を晩言、吹着
 三時迄、置酒して話す。楠瀬、日清、松茸
 在野も、山陽吉岡等も、其意他無き事
 日、日、日

和、社内の改革問題、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

十一日

三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百

山をり、利、本

晴大分好未印の人太事本大印より秋若山
 陽のつき来出日下寛き山湯を解り
 二行ぬ也列日廿三日より余るを書し骨を
 去る主のつき如人三十数ある日好ある迄に
 予平山あり申者す村山好に地と如を
 見るす又陳列の些と親のつき早大田を
 出状をゆるす人の候に白石山陽手間
 卷三運送置候上乗り昂に江村を施す
 素賀老古の運荷をゆるす午後支を
 代り候外に散策目星不動を
 ぬるかへは拙書五卷運送の禮を

の遺物に付二三の事とあり

此以後列冊に書り

以下全て

白紙

